

令和6年度 決算事業報告書



健康対策課



款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	13	諸費	会計名	一般会計
事業名		2-3	償還金(健康福祉課)						所属名	健康対策課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		国庫及び県補助金					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		過年度における国庫及び県支出金等の実績報告により適切に返金する。					⑧健康づくりの推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		国及び県の補助金、負担金の返金が適切に行える。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								③健康長寿のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(第18条第2項)		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	94.49 %				
7,204,906 円		4,411,629 円	△ 2,793,277 円	△ 38.8 %						
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減						
7,205 千円		4,669 千円	△ 2,536 千円	△ 35.2 %						
【事業内容】										
過年度事業において、補助金等の実績精算による返金を行うものです。										
【決算の状況】										
①成果実績または活動実績										
(円)										
補助金等の名称					概算交付額	確定額	償還金額			
							(計画)	(実績)		
①	令和5年度いきいき高齢者クラブ活動支援補助金				1,055,000	912,000	143,000	143,000		
②	令和5年度感染症予防事業費等国庫負担金				420,000	34,000	386,000	386,000		
③	令和5年度鳥取県市町村地域自死対策強化交付金				121,000	93,000	28,000	28,000		
④	令和5年度鳥取県健康増進事業費補助金				795,000	604,000	191,000	191,000		
⑤	令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫負担金				16,239,740	14,576,111	1,663,629	1,663,629		
⑥	令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金				11,961,000	9,961,000	2,000,000	2,000,000		
⑦	令和5年度未熟児養育医療費等国庫負担金				158,900	0	115,411	0		
⑧	令和5年度新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金				141,840	14,840	141,840	0		
	合計				30,892,480	26,194,951	4,668,880	4,411,629		
・詳細は次のページのとおり。 補助金返金額の確認が不足しており償還金の予算額に不足が生じたことによる流用をした。 流用先: 上記⑦からR5(R4繰越)障害者総合支援事業費補助金へ(償還金(福祉事務所)を参照) 各事業において見込による申請交付を受けた後に実績による精算(返金)を行った。 ・⑦は、令和5年度未熟児養育医療費等国庫負担金は子育て支援課と誤って重複して予算計上しており、子育て支援課から返還したため必要がなかった。 ・⑧は令和5年度新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金は令和5年度既に清算済であったため必要がなかった。 ※R5年度決算との比較 新型コロナワクチン接種体制確保事業が縮小し減額。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
							22 償還金、利子及び割引料	7,204,906	4,411,629	
	一般財源				7,204,906	4,411,629				
	計				7,204,906	4,411,629	計	7,204,906	4,411,629	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		一般財源の資金運用として概算払いを受けることは有益であることから、引き続き概算交付を受ける。年度実績として補助金、負担金等の返金が生じた場合の事務を適正に執行する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		引き続き、補助金等の実績精算に伴う返還を適切に行う。							
	解決すべき課題への方策		事業費用の動向を注視しながら、積算額と精算額に大幅な解離が発生しないように概算額を見込む必要がある。							

事業名	2-3	償還金(健康福祉課)	所属名	健康対策課
【令和6年度償還金の主な特徴】 ① 令和5年度いきいき高齢者クラブ活動支援補助金 理由) 当初見込みより会員数が減少し、事業規模が縮小となったため ② 令和5年度感染症予防事業費等国庫負担金 理由) 風疹抗体検査の希望者数が当初見込みより少なかったため、検査料が減額となったため ③ 令和5年度鳥取県市町村地域自死対策強化交付金 理由) 心の健康相談会等の申込者数の減や、実施回数が減になったため ④ 令和5年度鳥取県健康増進事業費補助金 理由) 健診の受診者が見込みより減少したため ⑤ 令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫負担金 理由) 新型コロナワクチン接種者が見込みよりも少なく、委託料等が減額となったため ⑥ 令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金 理由) 新型コロナワクチン接種者が見込みより少なく、人件費・手数料等が減額となったため ⑦ 令和5年度未熟児養育医療費等国庫負担金 理由) 万一申請者がいたときのために交付申請をしていたが、対象者がおらず全額不要となったため ⑧ 令和5年度新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金 理由) 新型コロナウイルス予防接種における健康被害該当者がなかったため ②成果または活動の問題点 返還の漏れや誤りがないよう管理をすることが必要である。				

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	会計名	一般会計
事業名		23	健康管理センターエアコン更新事業						所属名	健康対策課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		施設を利用する職員、町民					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		健康管理センターの施設環境を整え維持できている。					⑧健康づくりの推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		通常業務、各種会議等に利用するだけでなく、災害等の避難所の機能を維持することができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								③健康長寿のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								国民健康保険法、国民健康保険管理センター条例		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引		増減					
0 円		30,395,200 円	30,395,200 円		100.0 %					
前年度比較	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減		令和6年度執行率	100.00 %
	0 千円		30,396 千円		30,396 千円		100.0 %			
【事業内容】 老朽化に伴い冷暖房設備とそれにかかる電気設備を取り換える。										
【決算の状況】 (計画)										
(実績) ①成果実績または活動実績										
健康管理センターすこやか内冷暖房設備更新工事 当初予算額 42,900,000円 補正後予算額 30,396,000円										
冷暖房設備更新等工事 30,395,200円 (税込)										
請負業者:曾我工業(米子市富益町63-8)										
健康管理センター内 事務所(7)、相談室(1)、ホール(2) 検診室1～3(3)、消毒室(1)、待合ホール(2) 会議室(1)、会議室(1) 研修室(1)、栄養指導室(1) 保健指導室(1) 合計21台 ()内は台数										
工期;令和6年6月3日～令和6年11月29日 完成;令和6年11月25日										
21台設置(計画のとおり)										
②成果または活動の問題点 長年設備更新がなされていなかった。										
※新規事業のため、工事請負費が増額となった。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額
21-1-2-1		健康管理センターエアコン更新事業債			0	30,200,000	14 工事請負費		0	30,395,200
		一般財源			0	195,200				
		計			0	30,395,200	計		0	30,395,200
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		通常業務と災害時の避難所としての機能を維持する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		役場庁舎の基準に合わせ適切な使用と維持管理に努める。							
	解決すべき課題への方策		必要に応じた保守管理を行い、適切な使用と維持管理に努めるとともに計画的に設備の更新を行う。							

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費	会計名	一般会計
事業名		3	健康づくり推進事業						所属名	健康対策課
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		町民					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		町民が健康意識を向上し、運動習慣が定着している。					⑧健康づくりの推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		町民の健康意識の向上を図り、元気に暮らすことができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								③健康長寿のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								健康増進法、南部町健康なまちづくり 協議会設置要綱		
前年度 比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減			
	4,890,898 円		2,337,573 円		△ 2,553,325 円		△ 52.2 %			
	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減			
	4,414 千円		3,135 千円		△ 1,279 千円		△ 29.0 %			
						令和6年度 執行率		74.56 %		

【事業内容】

- ・町内医療機関、社会福祉協議会、スポnetなんぶ、米子保健所等の様々な関係機関と連携を行い、町の健康増進に沿った内容の事業展開を実施する。
- ・町民の運動習慣を定着させる仕掛けづくりとして「コツチャレなんぶ」を実施。
- ・令和6年度より「健康増進委員」事業を本事業に統合。

【決算の状況】

決算額内訳(単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
報償費	701,000	484,800	会議報償費(医療機関懇談会2,700円×8名分、健康なまちづくり協議会2,700円×6名分)、コツチャレなんぶ達成賞(447,000円)
需用費			
消耗品費	82,000	13,916	資料用PPC用紙等
役務費			
通信運搬費	1,157,000	979,747	郵送料
委託料			
その他の委託料	1,195,000	859,110	コツチャレなんぶ委託料859,110円(スポネットなんぶ)
合計	3,135,000	2,337,573	

- ・委託料は、チャレンジアップコースが講師の体制により実施できず、健康づくりコースのみ実施したことにより減額

※R5年度決算との比較

健康づくりコーディネーター委託料(委託先:スポnetなんぶ)を介護予防地域支援事業へ移管したため減額。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				7 報償費	649,700	484,800
				10 需用費	7,961	13,916
				11 役務費	925,056	979,747
				12 委託料	3,308,181	859,110
	一般財源	4,890,898	2,337,573			
	計	4,890,898	2,337,573	計	4,890,898	2,337,573

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	運動習慣の啓発について、今後は県が実施している事業を提案していく。町民が健康づくりの意識の向上につながるための会議を継続実施する。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	医療機関懇談会は相互の情報交換や連携強化できる機会であるため、引き続き実施しする。健康なまちづくり協議会は町民の貴重な意見聴取ができる場となっているため、引き続き実施し町の健康施策に反映していく。
	解決すべき課題への方策	コツチャレなんぶに代わるものとして、鳥取県主催の事業に共催し、健康づくりに取り組んでいく。

事業名	3	健康づくり推進事業	所属名	健康対策課																				
①成果実績または活動実績 (計画) (1) 医療機関懇談会 年間2回開催する。 内容:町の保健事業等に関して、町内医療機関(西伯病院、潮医院、法勝寺内科クリニック、ひろかね内科・循環器内科クリニック、さいはく眼科クリニック、入沢歯科医院)との意見交換及び協議 (2)「コツチャレなんぶ」を実施 委託先:スポnetなんぶ 内容:健康づくりコース 90日間毎日歩数を記録し、運動習慣を身につける。 期間:R6.9 ～R6.12 定員:250名 (3) 健康なまちづくり協議会 協議会の開催 年3回(委員10名) 内容:健康づくりに関するテーマにそって関係者へ意見聴取。 (4) 健康増進委員会 総会の開催 年1回 目的:南部町に暮らす誰もがいつまでも元気に暮らすことができるよう、関係機関と連携し、健康に関する意識を高め、地域の方の健康増進を目指す。 会員数:115名 ②成果または活動の問題点 コツチャレなんぶは9年間実施し、参加者はリピーターが多く、新規開拓につながらなかった。 アンケートでは、健康アプリが普及する中で、手書きの記録は継続しづらいとの意見があった。																								
(実績) (1) 医療機関懇談会 内容:健診、予防接種等について協議を実施 (開催日)第1回R6.11.8、5医療機関 第2回R7.3.11、5医療機関 (2)「コツチャレなんぶ」を実施 委託先:スポnetなんぶ 実施期間:R6.9.14～R6.12.12 参加者251名 定員が250名だったが、グループ参加の応募により1人を断ることはできなかったため。 <table><tr><td colspan="3">コツチャレなんぶの参加者・達成者</td><td>人(率)</td></tr><tr><td>コース名</td><td>参加者数</td><td colspan="2">達成者数(率)</td></tr><tr><td>健康づくり (個人の部)</td><td>107</td><td colspan="2">99(93%)</td></tr><tr><td>健康づくり(グループの部)</td><td>42団体 144</td><td colspan="2">142(99%)</td></tr><tr><td>計</td><td>251</td><td colspan="2">241</td></tr></table> (参加達成賞はたすかーどにポイント付与を行った) (3) 健康なまちづくり協議会 内容:少子高齢化が進む中、高齢者福祉サービスに充実を目指す必要があり、高齢者がいきいきと活躍し、健康で安心して暮らせる町を実現するために開催した。 (開催日)第1回 R6.11.28、10名 第2回 R6.12.24、10名 第3回 R7.2.21、10名 (4) 健康増進委員会 総会開催日 R6. 6. 2 総会参加数 60名(参加率52%) 内容:健診受診勧奨、熱中症予防啓発等					コツチャレなんぶの参加者・達成者			人(率)	コース名	参加者数	達成者数(率)		健康づくり (個人の部)	107	99(93%)		健康づくり(グループの部)	42団体 144	142(99%)		計	251	241	
コツチャレなんぶの参加者・達成者			人(率)																					
コース名	参加者数	達成者数(率)																						
健康づくり (個人の部)	107	99(93%)																						
健康づくり(グループの部)	42団体 144	142(99%)																						
計	251	241																						

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費	会計名	一般会計																																																																																																			
事業名		4	食育推進事業						所属名	健康対策課																																																																																																			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町民					総合計画における位置づけ																																																																																																					
	意図 (対象をどうするか)		健康で心豊かな食生活ができています。					⑧健康づくりの推進																																																																																																					
	成果の視点 (どのような効果があるか)		町民が食生活に関心を持つことで、食生活の質の向上につながる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																					
								③健康長寿のまちづくり																																																																																																					
								根拠法令・要綱等																																																																																																					
								食育基本法、第2期なんぶの食育プラン、南部町楽食クラブ支援補助金交付要綱																																																																																																					
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	89.07 %																																																																																																							
305,933 円		309,073 円	3,140 円	1.0 %																																																																																																									
前年度比較	令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減																																																																																																								
	339 千円		347 千円	8 千円	2.4 %																																																																																																								
【事業内容】 ・食育ボランティアの養成を行うとともに楽食クラブの活動を支援する。 ・食育に係る様々な関係者(町内栄養士等)が主体的かつ多様に連携・協働して取り組むための情報提供等行う。 ・健康課題がある方への栄養指導の実施。 【決算の状況】 決算額内訳(単位:円) <table><tr><th>科目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備 考</th></tr><tr><td>報償費</td><td>22,000</td><td>10,800</td><td>南部町食育専門職会議(@2,700円×2人×2回)</td></tr><tr><td>需用費</td><td>13,000</td><td>8,789</td><td>消耗品費</td></tr><tr><td>役務費</td><td>2,000</td><td>84</td><td>郵送料</td></tr><tr><td>委託料</td><td>60,000</td><td>59,400</td><td>栄養ソフト保守料 59,400円(プロカロ社)</td></tr><tr><td>原材料費</td><td>20,000</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>補助金</td><td>230,000</td><td>230,000</td><td>南部町楽食クラブ支援補助金230,000円</td></tr><tr><td>合計</td><td>347,000</td><td>309,073</td><td></td></tr></table> ・食育ボランティア養成講座は、応募がなかったため、原材料費と郵送料の支出がなかった。 ①成果実績または活動実績 (計画) 南部町楽食クラブ支援補助金 目的:南部町の食育推進及び町民の健康増進を図るための団体に対し運営及び事業実施を支援するもの。 交付先:南部町楽食クラブ ・減塩等の啓発 ・南部町楽食クラブの周知(PR活動) (実績) 南部町楽食クラブ支援補助金 目的:南部町の食育推進及び町民の健康増進を図るための団体に対し運営及び事業実施を支援するもの。 交付先:南部町楽食クラブ ・減塩等の啓発 ヘルシーメニューコンテスト 小中学生を対象に、夏休みの期間中ヘルシーメニューコンテストを募集した。応募作品は334作品。 ・南部町楽食クラブの周知(PR活動) 生涯学習作品展への出展(R6.10.26～10.27) 二十歳のつどい(R7.1.22) (歳入内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>305,933</td><td>309,073</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>305,933</td><td>309,073</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>7 報償費</td><td>5,000</td><td>10,800</td></tr><tr><td>10 需用費</td><td>13,883</td><td>8,789</td></tr><tr><td>11 役務費</td><td>1,354</td><td>84</td></tr><tr><td>12 委託料</td><td>42,240</td><td>59,400</td></tr><tr><td>15 原材料費</td><td>13,456</td><td>0</td></tr><tr><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>230,000</td><td>230,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>305,933</td><td>309,073</td></tr></table> 今後に向けて <table><tr><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>規則正しい食生活習慣の定着が図れるよう、食育ボランティア(南部町楽食クラブ)や他機関と連携し、町民の食生活の質の向上に努める。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成できた点をさらに伸ばす方策</td><td>食育ボランティアの活動を自らがやりがいをもって取り組んでいただけるように、関係機関と連携をしながら、研修等の支援を引き続き行っていく。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>食育ボランティア養成講座の参加につながるよう募集方法や内容の充実を図る。</td></tr></table>											科目	予算額	決算額	備 考	報償費	22,000	10,800	南部町食育専門職会議(@2,700円×2人×2回)	需用費	13,000	8,789	消耗品費	役務費	2,000	84	郵送料	委託料	60,000	59,400	栄養ソフト保守料 59,400円(プロカロ社)	原材料費	20,000	0		補助金	230,000	230,000	南部町楽食クラブ支援補助金230,000円	合計	347,000	309,073		款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額																						一般財源	305,933	309,073		計	305,933	309,073	節	前年度決算額	本年度決算額	7 報償費	5,000	10,800	10 需用費	13,883	8,789	11 役務費	1,354	84	12 委託料	42,240	59,400	15 原材料費	13,456	0	18 負担金補助及び交付金	230,000	230,000				計	305,933	309,073	①今後の事業全体の方向性とその内容	規則正しい食生活習慣の定着が図れるよう、食育ボランティア(南部町楽食クラブ)や他機関と連携し、町民の食生活の質の向上に努める。	②次年度へ向けた次への行動・具体策		達成できた点をさらに伸ばす方策	食育ボランティアの活動を自らがやりがいをもって取り組んでいただけるように、関係機関と連携をしながら、研修等の支援を引き続き行っていく。	解決すべき課題への方策	食育ボランティア養成講座の参加につながるよう募集方法や内容の充実を図る。
科目	予算額	決算額	備 考																																																																																																										
報償費	22,000	10,800	南部町食育専門職会議(@2,700円×2人×2回)																																																																																																										
需用費	13,000	8,789	消耗品費																																																																																																										
役務費	2,000	84	郵送料																																																																																																										
委託料	60,000	59,400	栄養ソフト保守料 59,400円(プロカロ社)																																																																																																										
原材料費	20,000	0																																																																																																											
補助金	230,000	230,000	南部町楽食クラブ支援補助金230,000円																																																																																																										
合計	347,000	309,073																																																																																																											
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																										
	一般財源	305,933	309,073																																																																																																										
	計	305,933	309,073																																																																																																										
節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																											
7 報償費	5,000	10,800																																																																																																											
10 需用費	13,883	8,789																																																																																																											
11 役務費	1,354	84																																																																																																											
12 委託料	42,240	59,400																																																																																																											
15 原材料費	13,456	0																																																																																																											
18 負担金補助及び交付金	230,000	230,000																																																																																																											
計	305,933	309,073																																																																																																											
①今後の事業全体の方向性とその内容	規則正しい食生活習慣の定着が図れるよう、食育ボランティア(南部町楽食クラブ)や他機関と連携し、町民の食生活の質の向上に努める。																																																																																																												
②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																													
達成できた点をさらに伸ばす方策	食育ボランティアの活動を自らがやりがいをもって取り組んでいただけるように、関係機関と連携をしながら、研修等の支援を引き続き行っていく。																																																																																																												
解決すべき課題への方策	食育ボランティア養成講座の参加につながるよう募集方法や内容の充実を図る。																																																																																																												

・楽食クラブ活動の様子



休日健診による減塩のPRを実施



楽食クラブ（Instagram） 楽食クラブ（Facebook）

- (2)生活習慣病予防等の栄養指導
栄養価計算ソフトを活用し栄養指導を行う。
保守委託先:プロカロ社
- ・個別栄養相談及び訪問 20件
 - ・集団健康教室 7件
- | | |
|-----------|----|
| 老人クラブ | 1件 |
| 100歳体操 | 1件 |
| からだスッキリ教室 | 1件 |
| 認知症カフェ | 2件 |
| いきいきサロン | 2件 |

- (2)生活習慣病予防等の栄養指導
栄養価計算ソフトを活用した栄養指導を実施。
保守委託先:プロカロ社
- ・個別相談等 29件
 - ・集団健康教室等 10件 126名
- | | | |
|-----------|----|-----|
| 老人クラブ | 1件 | 20名 |
| 100歳体操 | 4件 | 27名 |
| からだスッキリ教室 | 1件 | 7名 |
| 認知症カフェ | 2件 | 25名 |
| いきいきサロン | 2件 | 47名 |

- (3)南部町食育専門職会議の開催
目的:町の食から見えるの健康課題(塩分とりすぎ)等を情報共有し、様々な専門機関の視点から意見交換をする。
町内の栄養士、看護師等の連携会議を実施2回
《構成員8名》
伯耆の国・保育園・祥福園・学校・西伯病院、NOK・レパスト鳥取(NOK内社食)・教育委員会

- (3)南部町食育専門職会議の開催
内容:減塩の取り組み内容等などの計画及び実践に向けての協議、評価を行った。
会議 2回開催
1回目 R6.4.18 7名
2回目 R7.1.30 7名

- (4)食育ボランティア養成講座
目的:南部町楽食クラブの活動と一緒に行って町民の健康づくりに取り組んでいくために実施する。
内容:食育ボランティアとして活動するための基礎知識習得。(衛生管理や栄養について)
日程については参加された方から伺い決定する。

- (4)食育ボランティア養成講座
広報等で募集を行ったが、応募がなく開催できなかった。
(広報なんぶ(2回)やSNSなどを活用し、5～7月の期間募集。その後生涯学習作品展等でもPRを行ったが、応募がなかった。)

- ②成果または活動の問題点
食育ボランティアの応募が少ない。

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費	会計名	一般会計	
事業名		7	減塩推進事業						所属名	健康対策課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町民					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		食塩の摂りすぎを防ぎ、生活習慣病にならないようにできている。					⑧健康づくりの推進			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		町民が減塩の必要性を理解し、減塩に取り組むことができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								③健康長寿のまちづくり			
								根拠法令・要綱等			
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		令和6年度 執行率		82.62	%
		245,828 円	275,123 円	29,295 円		11.9 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減					
		336 千円	333 千円	△ 3 千円		△ 0.9 %					
【事業内容】 町民の方の約4割が塩分摂取量が多いこと、59歳以下を中心に薄味、減塩に対する意識が低いとことが令和4年度実施した減塩分析により明らかになっており、減塩の必要性を広く啓発し理解を深めてもらうための啓発活動を行う。											
【決算の状況】 決算額内訳(単位:円)											
科目		予算額	決算額	備考							
需用費											
消耗品費		55,000	51,274	イベント用品(容器等)							
印刷製本費		94,000	89,100	減塩チラシ印刷代							
役務費		47,000	0								
原材料費		137,000	134,749	食材							
合計		333,000	275,123								
・適塩講座の案内を健診の結果返しに同封したため、郵送料の支出はなかった。											
①成果実績または活動実績 (計画)											
(1)広報等を活用した情報発信											
①広報なんぶへ減塩レシピ掲載12回											
②毎月17日に『減塩の日』の防災無線を放送											
(2)町民への減塩普及・啓発											
①健診結果説明会											
内容:個別相談、試食											
(実績)											
(1)広報等を活用した情報発信											
①広報なんぶ『まいがな！減塩レシピ』12回掲載											
②防災無線による『減塩の日』の広報(毎月17日)											
(2)町民への減塩普及・啓発											
①健診結果説明会を実施											
(場所)まちの保健室											
(実施回数)12回											
(参加者)120名											
※R5年度決算との比較											
適塩講座の案内が健診の結果返しと時期が異なり、郵送料が必要だった。											
(歳入内訳 単位:円)											
款-項-目-節		科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額			
14-2-1-1		デジタル田園都市国家構想交付金	122,914	137,562	10 需用費		99,793	140,374			
					11 役務費		39,128	0			
					15 原材料費		106,907	134,749			
		一般財源	122,914	137,561							
		計	245,828	275,123	計		245,828	275,123			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		町民へ減塩推進の必要性を周知し、生活習慣病の予防として今後も必要な事業として継続する。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		減塩の必要性をさらに多くの方へ周知していくために、様々な事業を他機関と連携して行っており今後も引き続き大切なことを繰り返し伝えていく。								
	解決すべき課題への方策		減塩の大切さをいろんな視点から取り入れる事業を展開し、誰もが興味を持てるような仕組みを創る。								

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

②各種講座の開催

②-1 適塩講座

内容:基礎編 血圧の機序、血圧測定方法。
実践編 減塩のコツと実践方法、試食あり。
(講座は基礎編、実践編がセット)
年間2回実施

②-1適塩講座を実施

	(場所)	(開催日)	(延べ参加者)
第1回	キナルなんぶ	R6.8.30・R6.9.27	55名
第2回	いこい荘	R6.11.21・R6.12.19	22名

②-2 幼児食プラス講座

対象:子育て中の方
内容:離乳食から幼児食への移行の仕方
大人と子どもの塩分や味覚の違いについて

②-2 幼児食プラス講座を2回実施

(場所)	健康管理センターすこやか
(開催日)	R6.9.10(火) R7.3.6(木)
(参加者)	7名 10名

③休日健診・がん検診での啓発

内容:減塩メニューの試食等

③休日健診・がん検診で啓発実施

	(場所)	(開催日)	(参加者)
	健康管理センターすこやか	R6.9.1	40名
	総合福祉センターいこい荘	R6.12.1	92名

④各学校での講話

対象:西伯小・会見小5、6年生、会見二小全学年
法勝寺中・南部中1年生
内容:小学校「野菜を食べよう」講話
中学校「1日に必要な野菜の量は」体験と講話

④各学校での講話

対象:西伯小・会見小5、6年生
法勝寺中・南部中1年生
(成果)町民の健康課題である減塩の大切さ
を知ること、将来の健康について
考えるよい機会となった。(栄養教諭より)

(4)民間事業所との食育連携事業(食環境整備)

適塩フェスタ 年3回
(場所)まるごう西伯店
内容:健康コーナー(骨密度、血圧測定)
医師による 健康相談
減塩食品見本展示
楽食クラブによる試食コーナー

(4)イベントにて減塩メニュー提案

適塩フェスタ 3回開催
(場所)まるごう西伯店
(開催日) (参加者)
第1回 R6.5.19(日) 約280名
第2回 R6.6.16(日) 約220名
第3回 R6.9.16(月) 約300名

②成果または活動の問題点

様々な年代の方へ向けた仕掛けを検討して事業実施する必要がある。

(参考)

「南部町食の調査」より食塩摂取量

	男性	女性
平成19年度	14.7g	11.9g
平成29年度	14.9g	11.7g

*日本人の食事摂取基準(令和2年)目標量 男性7.5g 女性6.5g
*次回食塩摂取量の調査は、令和10年度に実施予定。



適塩フェスタ



減塩チラシ

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費	会計名	一般会計																																																																																																												
事業名		1	予防接種事業						所属名	健康対策課																																																																																																												
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		予防接種の対象の方					総合計画における位置づけ																																																																																																														
	意図 (対象をどうするか)		ワクチン接種により感染防止や重症化を予防している。					⑧健康づくりの推進																																																																																																														
	成果の視点 (どのような効果があるか)		様々な疾病について、発生及びまん延を予防するため適切な情報提供と接種環境を整え、重症化を防ぐことができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																														
								③健康長寿のまちづくり																																																																																																														
								根拠法令・要綱等																																																																																																														
								予防接種法、南部町任意予防接種実施要綱																																																																																																														
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	73.35 %																																																																																																																
51,658,111 円		56,558,896 円	4,900,785 円	9.5 %																																																																																																																		
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減																																																																																																																		
前年度比較		64,163 千円	77,104 千円	12,941 千円	20.2 %																																																																																																																	
【事業内容】 (1)定期接種(A類・B類)の実施。 (2)18歳以下の方へのインフルエンザの予防接種費用を助成。 (3)妊娠を希望する方やその同居または妊婦と同居しておられるの方への風しんまたは風しん麻しんワクチンの接種費用を助成。 令和6年度よりインフルエンザワクチン接種事業、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業を本事業に統合。接種医療機関は、西部町村会との委託契約に締結した医療機関で実施。 【決算の状況】 決算額内訳(単位:円) <table><tr><th>科目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備考</th></tr><tr><td>需用費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>127,000</td><td>95,039</td><td>予診票・同封物等用紙・予防接種冊子代他</td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>643,000</td><td>15,180</td><td>接種券専用台紙・予診票印刷代</td></tr><tr><td>役務費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>1,270,000</td><td>656,103</td><td>接種券、予診票等郵送料</td></tr><tr><td>手数料</td><td>877,000</td><td>6,900</td><td>風しん5期請求事務手数料</td></tr><tr><td>委託料</td><td>73,475,000</td><td>55,401,406</td><td>予防接種委託料(医療機関)</td></tr><tr><td>扶助費</td><td>712,000</td><td>384,268</td><td>予防接種助成金償還払い</td></tr><tr><td>合計</td><td>77,104,000</td><td>56,558,896</td><td></td></tr></table> ※R5年度決算との比較 委託料は、子宮頸がんの2価ワクチン、4価ワクチン(単価17,830円)から、9価ワクチン(単価29,380円)への置き換えが進んだことやキャッチアップ接種(注)の終了に伴う駆け込み接種が増加したことにより増額となった。 (注)「キャッチアップ接種」とは 子宮頸がんワクチンの接種勧奨を中止していたことにより接種機会を逃した方を対象に、改めて接種の機会を設ける制度。平成9年度～平成19年度生まれの女性が対象。 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科目名称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>14-1-2-2</td><td>新型コロナウィルスワクチン接種対策費国庫負担金</td><td>16,381,580</td><td>0</td></tr><tr><td>14-2-3-1</td><td>新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金</td><td>11,961,000</td><td>0</td></tr><tr><td>14-2-3-2</td><td>感染症予防事業費等国庫補助金</td><td>420,000</td><td>564,000</td></tr><tr><td>15-2-2-5</td><td>市町村子育て応援交付金</td><td>353,000</td><td>139,000</td></tr><tr><td>15-2-3-1</td><td>鳥取県風しん対策特別促進補助金</td><td>35,000</td><td>11,000</td></tr><tr><td>20-5-5-1</td><td>新型コロナワクチン接種助成金</td><td>0</td><td>12,898,200</td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>22,507,531</td><td>42,946,696</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>51,658,111</td><td>56,558,896</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科目名称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>10</td><td>需用費</td><td>726,083</td><td>110,219</td></tr><tr><td>11</td><td>役務費</td><td>2,820,926</td><td>663,003</td></tr><tr><td>12</td><td>委託料</td><td>47,595,262</td><td>55,401,406</td></tr><tr><td>13</td><td>使用料及び賃借料</td><td>79,000</td><td>0</td></tr><tr><td>18</td><td>負担金補助及び交付金</td><td>141,840</td><td>0</td></tr><tr><td>19</td><td>扶助費</td><td>295,000</td><td>384,268</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>51,658,111</td><td>56,558,896</td></tr></table>											科目	予算額	決算額	備考	需用費				消耗品費	127,000	95,039	予診票・同封物等用紙・予防接種冊子代他	印刷製本費	643,000	15,180	接種券専用台紙・予診票印刷代	役務費				通信運搬費	1,270,000	656,103	接種券、予診票等郵送料	手数料	877,000	6,900	風しん5期請求事務手数料	委託料	73,475,000	55,401,406	予防接種委託料(医療機関)	扶助費	712,000	384,268	予防接種助成金償還払い	合計	77,104,000	56,558,896		款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	14-1-2-2	新型コロナウィルスワクチン接種対策費国庫負担金	16,381,580	0	14-2-3-1	新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金	11,961,000	0	14-2-3-2	感染症予防事業費等国庫補助金	420,000	564,000	15-2-2-5	市町村子育て応援交付金	353,000	139,000	15-2-3-1	鳥取県風しん対策特別促進補助金	35,000	11,000	20-5-5-1	新型コロナワクチン接種助成金	0	12,898,200		一般財源	22,507,531	42,946,696		計	51,658,111	56,558,896	款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	10	需用費	726,083	110,219	11	役務費	2,820,926	663,003	12	委託料	47,595,262	55,401,406	13	使用料及び賃借料	79,000	0	18	負担金補助及び交付金	141,840	0	19	扶助費	295,000	384,268		計	51,658,111	56,558,896
科目	予算額	決算額	備考																																																																																																																			
需用費																																																																																																																						
消耗品費	127,000	95,039	予診票・同封物等用紙・予防接種冊子代他																																																																																																																			
印刷製本費	643,000	15,180	接種券専用台紙・予診票印刷代																																																																																																																			
役務費																																																																																																																						
通信運搬費	1,270,000	656,103	接種券、予診票等郵送料																																																																																																																			
手数料	877,000	6,900	風しん5期請求事務手数料																																																																																																																			
委託料	73,475,000	55,401,406	予防接種委託料(医療機関)																																																																																																																			
扶助費	712,000	384,268	予防接種助成金償還払い																																																																																																																			
合計	77,104,000	56,558,896																																																																																																																				
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																			
14-1-2-2	新型コロナウィルスワクチン接種対策費国庫負担金	16,381,580	0																																																																																																																			
14-2-3-1	新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金	11,961,000	0																																																																																																																			
14-2-3-2	感染症予防事業費等国庫補助金	420,000	564,000																																																																																																																			
15-2-2-5	市町村子育て応援交付金	353,000	139,000																																																																																																																			
15-2-3-1	鳥取県風しん対策特別促進補助金	35,000	11,000																																																																																																																			
20-5-5-1	新型コロナワクチン接種助成金	0	12,898,200																																																																																																																			
	一般財源	22,507,531	42,946,696																																																																																																																			
	計	51,658,111	56,558,896																																																																																																																			
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																			
10	需用費	726,083	110,219																																																																																																																			
11	役務費	2,820,926	663,003																																																																																																																			
12	委託料	47,595,262	55,401,406																																																																																																																			
13	使用料及び賃借料	79,000	0																																																																																																																			
18	負担金補助及び交付金	141,840	0																																																																																																																			
19	扶助費	295,000	384,268																																																																																																																			
	計	51,658,111	56,558,896																																																																																																																			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		感染症の発症や重症化を予防する上で予防接種は必要不可欠であり、予防接種法に基づき継続して実施する。																																																																																																																			
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																					
	達成できた点をさらに伸ばす方策		制度改正や定期接種の追加などもあるため、引き続き、個別通知や乳幼児健診等において、対象期間中に接種するように勧奨する。																																																																																																																			
	解決すべき課題への方策		乳幼児健診や就学時健診などの機会に接種勧奨を行い、定期接種期間中の接種わすれを防ぐ。																																																																																																																			

事業名	1	予防接種事業	所属名	健康対策課																																																																																																																																					
① 成果実績または活動実績 (計画) (実績) (1)定期接種A類																																																																																																																																									
<table><tr><th colspan="2">ワクチン名</th><th>年齢</th><th>対象数</th><th>接種数</th><th>接種率</th></tr><tr><td>BCG</td><td>1回 接種</td><td>1歳</td><td>44</td><td>43</td><td>97.7</td></tr><tr><td>二種混合</td><td>2期</td><td>小6</td><td>75</td><td>44</td><td>58.7</td></tr><tr><td rowspan="2">四種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ)</td><td>1期</td><td>初回3回</td><td>44</td><td>10</td><td>22.7</td></tr><tr><td></td><td>追加</td><td>49</td><td>63</td><td>129.0</td></tr><tr><td rowspan="2">ヒブ</td><td></td><td>初回3回</td><td>44</td><td>8</td><td>18.2</td></tr><tr><td></td><td>追加</td><td>49</td><td>37</td><td>75.5</td></tr><tr><td rowspan="2">五種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ、ヒブ)</td><td>1期</td><td>初回3回</td><td>44</td><td>39</td><td>88.6</td></tr><tr><td></td><td>追加</td><td>49</td><td>2</td><td>4.1</td></tr><tr><td rowspan="2">MR(麻しん・風しん混合)</td><td>1期</td><td>1歳</td><td>44</td><td>44</td><td>100.0</td></tr><tr><td>2期</td><td>年長</td><td>61</td><td>58</td><td>95.1</td></tr><tr><td>水痘</td><td>2回 接種</td><td>1歳</td><td>44</td><td>52</td><td>118.0</td></tr><tr><td rowspan="4">日本脳炎</td><td rowspan="2">1期</td><td>初回2回</td><td>72</td><td>60</td><td>83.3</td></tr><tr><td>追加</td><td>58</td><td>70</td><td>121.0</td></tr><tr><td rowspan="2">2期</td><td>小4</td><td>73</td><td>60</td><td>82.2</td></tr><tr><td>18歳</td><td>96</td><td>64</td><td>66.7</td></tr><tr><td rowspan="2">小児肺炎球菌</td><td>初回3回</td><td>1歳</td><td>44</td><td>48</td><td>109.0</td></tr><tr><td>追加</td><td>2歳</td><td>49</td><td>40</td><td>81.6</td></tr><tr><td rowspan="2">子宮頸がん</td><td>3回</td><td>中1</td><td>53</td><td>12</td><td>22.6</td></tr><tr><td colspan="2">キャッチアップ接種</td><td>426</td><td>124</td><td>29.1</td></tr><tr><td>B型肝炎</td><td colspan="2">1歳までに3回</td><td>44</td><td>39</td><td>88.6</td></tr><tr><td rowspan="2">ロタウイルス</td><td colspan="2">ロタリクス:24週までに2回</td><td rowspan="2">44</td><td>16</td><td rowspan="2">90.9</td></tr><tr><td colspan="2">ロタテック:32週までに3回</td><td>24</td></tr><tr><td rowspan="2">風しんの追加的対策事業(5期)</td><td colspan="2">抗体価検査</td><td rowspan="2">749</td><td>21</td><td rowspan="2">/</td></tr><tr><td colspan="2">ワクチン接種</td><td>5</td></tr></table> ・四種混合、ヒブの初回接種率が低い。これは定期接種が五種混合(四種混合とヒブ)に変更となった事に伴うものである。 ・抗体価が低い方へのワクチン接種(風しん5期) 【対象数】…ワクチン接種の標準的な年齢の方の数。【接種数】…令和6年度に各ワクチンの接種を完了した方の数。					ワクチン名		年齢	対象数	接種数	接種率	BCG	1回 接種	1歳	44	43	97.7	二種混合	2期	小6	75	44	58.7	四種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ)	1期	初回3回	44	10	22.7		追加	49	63	129.0	ヒブ		初回3回	44	8	18.2		追加	49	37	75.5	五種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ、ヒブ)	1期	初回3回	44	39	88.6		追加	49	2	4.1	MR(麻しん・風しん混合)	1期	1歳	44	44	100.0	2期	年長	61	58	95.1	水痘	2回 接種	1歳	44	52	118.0	日本脳炎	1期	初回2回	72	60	83.3	追加	58	70	121.0	2期	小4	73	60	82.2	18歳	96	64	66.7	小児肺炎球菌	初回3回	1歳	44	48	109.0	追加	2歳	49	40	81.6	子宮頸がん	3回	中1	53	12	22.6	キャッチアップ接種		426	124	29.1	B型肝炎	1歳までに3回		44	39	88.6	ロタウイルス	ロタリクス:24週までに2回		44	16	90.9	ロタテック:32週までに3回		24	風しんの追加的対策事業(5期)	抗体価検査		749	21	/	ワクチン接種		5
ワクチン名		年齢	対象数	接種数	接種率																																																																																																																																				
BCG	1回 接種	1歳	44	43	97.7																																																																																																																																				
二種混合	2期	小6	75	44	58.7																																																																																																																																				
四種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ)	1期	初回3回	44	10	22.7																																																																																																																																				
		追加	49	63	129.0																																																																																																																																				
ヒブ		初回3回	44	8	18.2																																																																																																																																				
		追加	49	37	75.5																																																																																																																																				
五種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ、ヒブ)	1期	初回3回	44	39	88.6																																																																																																																																				
		追加	49	2	4.1																																																																																																																																				
MR(麻しん・風しん混合)	1期	1歳	44	44	100.0																																																																																																																																				
	2期	年長	61	58	95.1																																																																																																																																				
水痘	2回 接種	1歳	44	52	118.0																																																																																																																																				
日本脳炎	1期	初回2回	72	60	83.3																																																																																																																																				
		追加	58	70	121.0																																																																																																																																				
	2期	小4	73	60	82.2																																																																																																																																				
		18歳	96	64	66.7																																																																																																																																				
小児肺炎球菌	初回3回	1歳	44	48	109.0																																																																																																																																				
	追加	2歳	49	40	81.6																																																																																																																																				
子宮頸がん	3回	中1	53	12	22.6																																																																																																																																				
	キャッチアップ接種		426	124	29.1																																																																																																																																				
B型肝炎	1歳までに3回		44	39	88.6																																																																																																																																				
ロタウイルス	ロタリクス:24週までに2回		44	16	90.9																																																																																																																																				
	ロタテック:32週までに3回			24																																																																																																																																					
風しんの追加的対策事業(5期)	抗体価検査		749	21	/																																																																																																																																				
	ワクチン接種			5																																																																																																																																					
(1)定期接種B類																																																																																																																																									
<table><tr><th>ワクチン名</th><th>年齢</th><th>対象者</th><th>接種者</th><th>接種率</th></tr><tr><td>高齢者インフルエンザ予防接種</td><td>65歳以上</td><td>4,015</td><td>2,538</td><td>63.2</td></tr><tr><td>新型コロナウイルス感染症予防接種</td><td>65歳以上</td><td>4,015</td><td>1,554</td><td>38.7</td></tr><tr><td>高齢者肺炎球菌感染症予防接種</td><td>65歳</td><td>160</td><td>61</td><td>38.1</td></tr></table> 高齢者肺炎球菌感染症予防接種の対象者数はR6年度に接種券を送付した方の数。					ワクチン名	年齢	対象者	接種者	接種率	高齢者インフルエンザ予防接種	65歳以上	4,015	2,538	63.2	新型コロナウイルス感染症予防接種	65歳以上	4,015	1,554	38.7	高齢者肺炎球菌感染症予防接種	65歳	160	61	38.1																																																																																																																	
ワクチン名	年齢	対象者	接種者	接種率																																																																																																																																					
高齢者インフルエンザ予防接種	65歳以上	4,015	2,538	63.2																																																																																																																																					
新型コロナウイルス感染症予防接種	65歳以上	4,015	1,554	38.7																																																																																																																																					
高齢者肺炎球菌感染症予防接種	65歳	160	61	38.1																																																																																																																																					
(2)定期接種以外(任意接種) ■18歳以下インフルエンザ予防接種費用助成(任意)																																																																																																																																									
<table><tr><th>ワクチン名</th><th>年齢</th><th>対象者</th><th>接種者</th><th>接種率</th></tr><tr><td>季節性インフルエンザ予防接種</td><td>18歳以下</td><td>1,355</td><td>521</td><td>38.5</td></tr></table> ・18歳以下インフルエンザ予防接種については、助成券の利用が町内医療機関に限られていたが、R6年度は鳥取県西部の協力医療機関でも受診できるようになったため、接種率の向上につながった。					ワクチン名	年齢	対象者	接種者	接種率	季節性インフルエンザ予防接種	18歳以下	1,355	521	38.5																																																																																																																											
ワクチン名	年齢	対象者	接種者	接種率																																																																																																																																					
季節性インフルエンザ予防接種	18歳以下	1,355	521	38.5																																																																																																																																					
(3)風しん対策ワクチン接種事業 ■風しん対策ワクチン接種事業 妊娠を希望する女性で風しん抗体価が低い方、及び同居者、妊婦の配偶者及び同居者																																																																																																																																									
<table><tr><th>ワクチン名</th><th>対象者</th><th>接種者</th><th>接種率</th></tr><tr><td rowspan="4">風しんワクチン予防接種</td><td>妊娠を希望する女性</td><td>5</td><td rowspan="4">/</td></tr><tr><td>妊婦の配偶者</td><td>2</td></tr><tr><td>妊婦の同居者</td><td>2</td></tr><tr><td>妊娠希望する女性の同居者</td><td>0</td></tr></table>					ワクチン名	対象者	接種者	接種率	風しんワクチン予防接種	妊娠を希望する女性	5	/	妊婦の配偶者	2	妊婦の同居者	2	妊娠希望する女性の同居者	0																																																																																																																							
ワクチン名	対象者	接種者	接種率																																																																																																																																						
風しんワクチン予防接種	妊娠を希望する女性	5	/																																																																																																																																						
	妊婦の配偶者	2																																																																																																																																							
	妊婦の同居者	2																																																																																																																																							
	妊娠希望する女性の同居者	0																																																																																																																																							
② 成果または活動の問題点 定期接種の接種わすれがないように、接種勧奨の必要がある。																																																																																																																																									

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	健康増進費	会計名	一般会計																																			
事業名		1	生活習慣病予防健診						所属名	健康対策課																																			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		主に20～39歳以下の国保加入者及び20歳以上の生活保護受給者					総合計画における位置づけ																																					
	意図 (対象をどうするか)		基本健診の対象者が健診を受けることで自身の健康状態を知り、疾病の治療に繋がったり、健康づくりに取り組んでいる。					⑧健康づくりの推進																																					
	成果の視点 (どのような効果があるか)		受診者数の増加					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																					
								③健康長寿のまちづくり																																					
								根拠法令・要綱等																																					
	前年度比較		令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減																																				
379,159 円			437,365 円		58,206 円		15.4 %																																						
令和5年度予算額			令和6年度予算額		差引		増減																																						
642 千円			662 千円		20 千円		3.1 %																																						
								令和6年度執行率	66.07 %																																				
【事業内容】 20～39歳以下の国保加入者及び20歳以上の生活保護受給者、20～74歳の国保外で職場等で健診機会のない方を対象に健康診査を実施する。 【決算の状況】 決算額内訳(単位:円) <table><tr><th>科目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備考</th></tr><tr><td>役務費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>13,000</td><td>3,846</td><td>健診結果郵送他</td></tr><tr><td>委託料</td><td>649,000</td><td>433,519</td><td>健診委託料(219,840円町内4医療機関、213,679円鳥取県保健事業団)</td></tr><tr><td>合計</td><td>662,000</td><td>437,365</td><td></td></tr></table> ・委託料は、健診受診者数が少なく支出が減額となった。 ①成果実績または活動実績 (計画) (1)基本健康診査を町内医療機関での個別健診と集団健診で実施。 ・委託先:町内4医療機関(西伯病院、潮医院、法勝寺内科クリニック、ひろかね内科・循環器内科クリニック)(個別健診)と鳥取県保健事業団(集団健診)。 ・実施期間は、6月～2月末。 対象者:213人 (実績) (1)基本健康診査を町内医療機関での個別健診と集団健診で実施した。 ・委託先:町内4医療機関(西伯病院、潮医院、法勝寺内科クリニック、ひろかね内科・循環器内科クリニック)(個別健診)と鳥取県保健事業団(集団健診)。 ・実施期間は、6月～2月末。 対象者:213人 受診者:37人(内訳20～39歳 28人、生活保護受給者 7人、職場等で健診機会のない方 2人) ②成果または活動の問題点 健診を受けることで生活習慣病予防につなげる必要がある。											科目	予算額	決算額	備考	役務費				通信運搬費	13,000	3,846	健診結果郵送他	委託料	649,000	433,519	健診委託料(219,840円町内4医療機関、213,679円鳥取県保健事業団)	合計	662,000	437,365																
科目	予算額	決算額	備考																																										
役務費																																													
通信運搬費	13,000	3,846	健診結果郵送他																																										
委託料	649,000	433,519	健診委託料(219,840円町内4医療機関、213,679円鳥取県保健事業団)																																										
合計	662,000	437,365																																											
(歳入内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科目名称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>15-2-3-2</td><td>衛生費補助金(健康診査)</td><td>21,000</td><td>46,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>358,159</td><td>391,365</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>379,159</td><td>437,365</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>11 役務費</td><td>356</td><td>3,846</td></tr><tr><td>12 委託料</td><td>378,803</td><td>433,519</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>379,159</td><td>437,365</td></tr></table>											款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	15-2-3-2	衛生費補助金(健康診査)	21,000	46,000						一般財源	358,159	391,365		計	379,159	437,365	節	前年度決算額	本年度決算額	11 役務費	356	3,846	12 委託料	378,803	433,519				計	379,159	437,365
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																										
15-2-3-2	衛生費補助金(健康診査)	21,000	46,000																																										
	一般財源	358,159	391,365																																										
	計	379,159	437,365																																										
節	前年度決算額	本年度決算額																																											
11 役務費	356	3,846																																											
12 委託料	378,803	433,519																																											
計	379,159	437,365																																											
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		若い世代の方に健診の機会を与えることで若い頃から生活習慣病予防につなげることができる。また健診結果数値異常者に対して保健指導を行うきっかけになることから継続する必要がある。																																										
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																												
	達成できた点をさらに伸ばす方策		ひきつづき受診券発送時および受診期間中、対象者に向けて広報等による周知を行う。																																										
	解決すべき課題への方策		働き世代の受診しやすさを確保するため休日健診等を実施する。																																										

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	健康増進費	会計名	一般会計
事業名		2	がん征圧事業						所属名	健康対策課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		国等が定めるがん検診対象者					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		がん検診を受け、がんを早期発見、治療している。					⑧健康づくりの推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		受診者数、受診率の増加					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								③健康長寿のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	健康増進法、鳥取県大腸がん検診特別推進支援補助金交付要綱、肝炎対策基本法、鳥取県がん対策推進条例				
		34,852,832 円	32,498,467 円	△ 2,354,365 円	△ 6.8 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		38,316 千円	37,437 千円	△ 879 千円	△ 2.3 %					
		【事業内容】								
		・がんの早期発見に向け、各種がん検診を実施する。								
		・がん予防の意識の向上を図る。								
		・がんによる外見変貌を補完する補整具の補助を行う。								
		・令和6年度から「禁煙支援事業」事業を本事業に統合								
		【決算の状況】								
		決算額内訳(単位:円)								
		科目	予算額	決算額	備考					
		報償費	380,000	380,000	胃がん検診読影員会、禁煙相談会医師					
		需用費								
		消耗品費	189,000	134,416	受診券同封物・結果返し等用紙、事務用品					
		印刷製本費	1,191,000	727,930	受診券・紹介状等印刷代					
		役務費								
		通信運搬費	305,000	271,043	検診結果返し等郵送料					
		手数料	22,000	0	国民健康保険連合会事務手数料					
		委託料								
		その他の委託料	35,100,000	30,884,638	がん検診委託料(20,946,150円西伯病院他町内医療機関、5,555,554円鳥取県国保連合会、563,420円鳥取県健康対策協議会、3,811,594円鳥取県保健事業団)、休日託児(7,920円クローバーキッズ)					
		負担金補助及び交付金								
		その他補助金	200,000	82,000	がん患者へのウィッグ及び補正下着購入費用の補助					
		扶助費	50,000	18,440	禁煙治療費助成金					
		合計	37,437,000	32,498,467						
		・手数料は、国保連合会への業務委託であったため、手数料の支出はなかった。								
		※R5年度決算との比較								
		需用費は、受診券の在庫の状況により印刷枚数が前年度に比べ減少したため。								
		その他補助金は、がん患者へのウィッグ等を購入された方が、R5年度の4人からR6年度3人に減少したため。								
		扶助費は、禁煙治療をされた方が、R5年度の1人からR6年度3人に増加したため。								
		(歳入内訳 単位:円)				(歳出内訳 単位:円)				
款-項-目-節		科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
15-1-2-1		休日がん検診実施支援負担金	193,000	226,000	7 報償費	380,000	380,000			
15-2-3-2		健康増進費補助金(肝炎ウイルス検査)	17,000	14,000	10 需用費	1,361,835	862,346			
15-2-3-2		健康増進費補助金(健康診査)	575,000	650,000	11 役務費	196,942	271,043			
15-2-3-2		健康増進費補助金(大腸がん検診)	27,000	23,000	12 委託料	32,756,135	30,884,638			
15-2-3-2		健康増進費補助金(市町村と連携して行う胃がん対策)	49,000	48,000	18 負担金補助及び交付金	148,000	82,000			
					19 扶助費	9,920	18,440			
		一般財源	33,991,832	31,537,467						
		計	34,852,832	32,498,467	計	34,852,832	32,498,467			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		受診率の向上のため検診しやすい体制の確保・受診勧奨や啓発活動を継続して行う。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		休日検診や託児など、町民の方が検診を受けやすい環境を整えていく。							
	解決すべき課題への方策		検診の重要性の周知や受診機会の拡充を図っていく。							

事業名	2	がん征圧事業	所属名	健康対策課																														
①成果実績または活動実績 (計画) (1) 各種がん検診(胃・大腸・肺・子宮・乳がん検診) 内容:各種がん検診を町内外医療機関で実施。 対象者は、40歳以上(子宮がん検診は20歳以上) 実施期間は、R6.6月～R7.2月 県全体の目標値は 70% 委託先:町内4医療機関、町外15医療機関 その他: ・要精密検査の方への訪問、受診勧奨。 ・40歳到達の方への大腸がん検査キットを配布・回収。見込 30人 ・胃がん対策として30代の希望者にピロリ菌検査を実施。見込 200人 (2) がん患者へのウィッグ、補正下着購入助成 内容:がん患者の方の補整具の費用助成。 購入経費の1/2(上限5万円)4人分 (3) 禁煙支援 内容:禁煙治療をされた方に対する治療費の助成 (上限1万円)5人分 禁煙無料相談会 1回(集団検診時) ②成果または活動の問題点 ・休日検診や託児など、若い方にできるだけ受検しやすい環境を整えているが、受診率の伸びが少ない。																																		
(実績) (1) 各種がん検診(胃・大腸・肺・子宮・乳がん検診) 実施期間は、R6.6月～R7.2月 委託先:町内4医療機関、町外15医療機関 受診状況の推移 <table><tr><td>区分</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>県 (R5)</td></tr><tr><td>胃がん</td><td>37.1</td><td>35.7</td><td>36.1</td><td>26.0</td></tr><tr><td>大腸がん</td><td>38.1</td><td>37.2</td><td>37.3</td><td>28.7</td></tr><tr><td>肺がん</td><td>39.4</td><td>39.3</td><td>39.1</td><td>29.1</td></tr><tr><td>子宮がん</td><td>28.6</td><td>29.4</td><td>29.8</td><td>24.6</td></tr><tr><td>乳がん</td><td>18.8</td><td>20.0</td><td>18.1</td><td>15.4</td></tr></table> ・要精密検査の方に対して、保健師の訪問を全数実施した。また年2回の受診勧奨案内を実施することができた。 ・大腸がん検査キット回収 13人 ・ピロリ菌検査実施者数 30人 ・受診率向上の取組として、対象者全員に受診券を送付した。SANチャンネル・防災無線・広報なんぶ・チラシ配布・テロヒラ役場・各種イベント(地区のまつりの健康コーナーなど)で広く周知した。 ・集団検診では受診しやすいよう休日検診・託児を実施。 (2) がん患者へのウィッグ、補正下着購入助成 ・ウィッグ購入 3人 (3) 禁煙支援 ・禁煙外来治療費助成 3人 ・禁煙無料相談会 1回(R6.12.1開催) 相談人数 2人 禁煙指導医 西伯病院院長					区分	R4	R5	R6	県 (R5)	胃がん	37.1	35.7	36.1	26.0	大腸がん	38.1	37.2	37.3	28.7	肺がん	39.4	39.3	39.1	29.1	子宮がん	28.6	29.4	29.8	24.6	乳がん	18.8	20.0	18.1	15.4
区分	R4	R5	R6	県 (R5)																														
胃がん	37.1	35.7	36.1	26.0																														
大腸がん	38.1	37.2	37.3	28.7																														
肺がん	39.4	39.3	39.1	29.1																														
子宮がん	28.6	29.4	29.8	24.6																														
乳がん	18.8	20.0	18.1	15.4																														

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	健康増進費	会計名	一般会計																																																																																				
事業名		3	健康教育事業						所属名	健康対策課																																																																																				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町民					総合計画における位置づけ																																																																																						
	意図 (対象をどうするか)		生活習慣病予防や熱中症予防などの正しい知識を学び実践している。自らの健康意識を高め、積極的に健康づくりに取り組んでいる。					⑧健康づくりの推進																																																																																						
	成果の視点 (どのような効果があるか)		自らの心身の健康状態を把握し,病気の予防や健康増進につながっている。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																						
								③健康長寿のまちづくり																																																																																						
								根拠法令・要綱等																																																																																						
								健康増進法																																																																																						
前年度比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減																																																																																							
	46,916 円		98,241 円		51,325 円		109.4 %																																																																																							
	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減																																																																																							
	144 千円		143 千円		△ 1 千円		△ 0.7 %																																																																																							
						令和6年度執行率		68.70 %																																																																																						
【事業内容】 生活習慣病および生活習慣病の重症化予防として、個別の健康相談や保健指導の実施、集団への健康教育の実施する。 【決算の状況】 決算額内訳(単位:円) <table><tr><td>科目</td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>備考</td></tr><tr><td>報償費</td><td>60,000</td><td>20,000</td><td>からだすっきり教室講習会報償費 1人×@5,000円×4回</td></tr><tr><td>需用費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>71,000</td><td>70,937</td><td>健康管理ファイル他</td></tr><tr><td>役務費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>12,000</td><td>7,304</td><td>郵便料金</td></tr><tr><td>合計</td><td>143,000</td><td>98,241</td><td></td></tr></table> ※運動講習会の参加人数が予想の半数であったため、講師を2人体制から1人に変更し報償費が減額した。 ①成果実績または活動実績 (計画) 糖尿病予防教室の実施 ・からだスッキリ教室 10/3、10/17、11/14、12/12、1/30の5回 内容:糖尿病予防の講演、運動講習会 計測、体力測定 講師:西伯病院長 健康運動指導士 2名 (実績) 糖尿病予防教室の実施 ・からだスッキリ教室 10/3、10/17、11/14、12/12、1/30の5回開催 参加者数:25人 講師:西伯病院長 健康運動指導士 1名 ・健診結果説明会やいきいきサロン等の場を活用し、生活習慣病予防のための保健指導や健康相談を行った。 ②成果または活動の問題点 生活習慣の改善で効果が期待できる壮年期の参加者が少なく、教室全体の利用者も少ない。 ※R5年度決算との比較 健康管理ファイルを購入したことにより、消耗品が増額となった。 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科目名称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>15-2-3-2</td><td>健康増進費補助金(健康教育)</td><td>92,000</td><td>56,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>△ 45,084</td><td>42,241</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>46,916</td><td>98,241</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>7 報償費</td><td>25,000</td><td>20,000</td></tr><tr><td>10 需用費</td><td>11,372</td><td>70,937</td></tr><tr><td>11 役務費</td><td>10,544</td><td>7,304</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>46,916</td><td>98,241</td></tr></table> 今後に向けて ①今後の事業全体の方向性とその内容 南部町の健康課題に応じた健康教育・教室を実施し、自身の健康に関心を持ち、行動変容につなげることができるよう取り組みを行う。 ②次年度へ向けた次への行動・具体策 達成できた点をさらに伸ばす方策 からだスッキリ教室は、糖尿病性腎症重症化予防保健指導者も対象とし、主治医と連携して取り組みを行うことができた。健康課題に応じた教育・教室内容となるように見直しを行う。 解決すべき課題への方策 教室内容や周知方法を工夫し実施していく必要がある。											科目	予算額	決算額	備考	報償費	60,000	20,000	からだすっきり教室講習会報償費 1人×@5,000円×4回	需用費				消耗品費	71,000	70,937	健康管理ファイル他	役務費				通信運搬費	12,000	7,304	郵便料金	合計	143,000	98,241		款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	15-2-3-2	健康増進費補助金(健康教育)	92,000	56,000																		一般財源	△ 45,084	42,241	計		46,916	98,241	節	前年度決算額	本年度決算額	7 報償費	25,000	20,000	10 需用費	11,372	70,937	11 役務費	10,544	7,304										計	46,916	98,241
科目	予算額	決算額	備考																																																																																											
報償費	60,000	20,000	からだすっきり教室講習会報償費 1人×@5,000円×4回																																																																																											
需用費																																																																																														
消耗品費	71,000	70,937	健康管理ファイル他																																																																																											
役務費																																																																																														
通信運搬費	12,000	7,304	郵便料金																																																																																											
合計	143,000	98,241																																																																																												
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																											
15-2-3-2	健康増進費補助金(健康教育)	92,000	56,000																																																																																											
	一般財源	△ 45,084	42,241																																																																																											
計		46,916	98,241																																																																																											
節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																												
7 報償費	25,000	20,000																																																																																												
10 需用費	11,372	70,937																																																																																												
11 役務費	10,544	7,304																																																																																												
計	46,916	98,241																																																																																												

款	4	総務費	項	1	保健衛生費	目	3	健康増進費	会計名	一般会計
事業名		4	自死対策事業						所属名	健康対策課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		ストレスを抱えている方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		自分自身のストレスに気づき、適切に対処することができている。					⑧健康づくりの推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		自死の危険性の高い方が適切な支援につながり、自死に至らない。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								③健康長寿のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、南部町自死対策計画		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	68.24 %				
171,067 円		139,899 円	△ 31,168 円	△ 18.2 %						
前年度比較		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		219 千円	205 千円	△ 14 千円	△ 6.4 %					
【事業内容】 南部町自死対策計画に基づき自死予防の普及啓発、自死を防ぐための相談体制の整備、人材育成等により、町内の自死予防に対する支援とその体制の充実を図る。										
【決算の状況】 決算額内訳(単位:円)										
科目		予算額	決算額	備考						
需用費										
消耗品費		37,000	20,405	カラーペーパー						
印刷製本費		50,000	49,500	心の健康相談会ポスター(40枚)、カード(800枚)作成						
役務費										
通信運搬費		8,000	3,994	郵送料						
委託料		110,000	66,000	公認心理師派遣委託@5,500円×12回(西伯病院)						
合計		205,000	139,899							
※心の健康相談、ゲートキーパー養成講座の集落からの申込がなく、公認心理師への委託料の支払が少なかった。										
①成果実績または活動実績 (計画) (1)心の健康相談会 内容:公認心理師が、悩みや困難を抱える町民やその家族等に対して対面による相談に応じる。(予約制) 毎月1回第3火曜日、その他休日に2回開催。(年間14回) その他、町内公共施設、企業にポスター掲示や携帯カードの設置を依頼、広報、防災無線等も活用して相談窓口の周知を行う。										
(実績) (1)心の健康相談会 内容:心理カウンセラーとしての経験実績がある公認心理師による相談会の開催。 委託先:西伯病院 実施状況:毎月第3火曜日(4、6、9、12月を除く)と休日2回。延べ13人利用。										
※R5年度決算との比較 R5年度は、ゲートキーパー養成講座のご案内を健康増進委員等へ個別発送していたが、R6年度は行政文書配布の際に区長あてに送付したため、郵送料の支出が少なかった。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
15-2-3-2	鳥取県地域自死対策強化交付金		121,000	87,000	10 需用費	96,751	69,905			
					11 役務費	8,316	3,994			
					12 委託料	66,000	66,000			
	一般財源		50,067	52,899						
	計		171,067	139,899	計	171,067	139,899			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		南部町自死対策計画に挙げている地域におけるネットワークの強化、自死対策を支える人材の育成、住民への啓発と周知、生きることの促進要因への支援、児童生徒のSOSの出し方に関する教育の事業を展開していく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		各地区の健康講座等の様々な機会を捉えて「ゲートキーパー養成講座」を実施し、悩んでいる人に気付いた際の寄り添い方や相談窓口の紹介等を学んでいただくことで、地域や職場でのゲートキーパーとなるべく人材を養成する。							
	解決すべき課題への方策		自死に追い込まれる危機に陥った場合に援助を求めることが適切であるということが共通認識となるよう、様々な機会で普及啓発を行っていく。併せて、心の健康相談等の窓口等の情報提供を定期的に行うことで危機に陥った時の相談先の存在を周知していく。							

事業名	4	自死対策事業	所属名	健康対策課
(2)若年層に向けた啓発 ・自殺予防に向けた相談窓口、相談会のチラシ、キャンペーングッズを配布、公認心理師によるストレスとの付き合い方、SOSの出し方等に関する講話を行う。 対象:義務教育終了前の中学3年生、実施:2回／年 ・新成人に対し、二十歳のつどいでキャンペーングッズ等の配布。 (3)ゲートキーパー養成講座 ・公認心理師によるゲートキーパー養成講座を開催。 ・対象:町職員、健康増進委員、福祉委員、民生委員、その他町民の方 ・年6回開催 (4)心の健康チェックシート 20～74歳の方全員の健(検)診受診券封筒に同封して配布、健(検)診受診時に回収。高得点(5点以上)の方には保健師が家庭訪問等を行い、面談およびうつ病の発見のためのスクリーニングテストを実施する。必要に応じて、心の健康相談会や医療機関につなぐ。 ・実施期間:通年 ②成果または活動の問題点 自死に追い込まれるという危機は、誰にでも起こり得る危機だが、危機に陥った方の心情や背景が理解されにくい現状がある。 (参考) 南部町自死対策計画 (2)若年層に向けた啓発 ・法勝寺中学校3年生 52人受講 12月5日実施 ・南部中学校3年生 31人受講 12月9日実施 ・新成人(95人)へクリアファイル、チラシ、リーフレット等を配布。 (3)ゲートキーパー養成講座 ・心理カウンセラーとしての経験実績がある公認心理師の派遣を委託。 ・講師委託先:西伯病院 ・R6.11.14 25人、R6.11.15 30人 町職員研修 合計受講者55人 ・ゲートキーパー登録者数 402人(R6年度末現在) (4)心の健康チェックシート ・通年 541人回収。 ・回収したチェックシートの5点以上の方49人へ、保健師による家庭訪問等の面談を実施。				

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	健康増進費	会計名	一般会計			
事業名		5	まちの保健室事業						所属名	健康対策課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町民					総合計画における位置づけ					
	意図 (対象をどうするか)		身近なところで相談ができるようになっている。その場を積極的に活用し健康に関する不安を解消している。					⑧健康づくりの推進					
	成果の視点 (どのような効果があるか)		自分自身のことや家族の相談をする場となっており不安の軽減が図れている。また、住民同士の交流の場になっている。					「五つの挑戦」から見た位置づけ					
								③健康長寿のまちづくり					
								根拠法令・要綱等					
								健康増進法					
前年度比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減		令和6年度 執行率	72.53 %			
	375,480 円		939,975 円		564,495 円		150.3 %						
	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減						
	466 千円		1,296 千円		830 千円		178.1 %						
【事業内容】													
学校にある保健室のように、だれでも気軽に立ち寄り「こころ」と「からだ」の相談ができる場所として各振興協議会ごとに「まちの保健室」を開催し、幅広い年齢層の方へ健康情報の提供、健康のサポートを行う。													
【決算の状況】													
決算額内訳(単位:円)													
科目		予算額		決算額		備考							
報償費		350,000		50,000		講師報償費							
需用費													
消耗品費		29,000		12,725		用紙、精製水、ポリラップ							
印刷製本費		65,000		64,900		まちの保健室チラシ印刷代							
備品購入費		852,000		812,350		骨密度測定装置							
合計		1,296,000		939,975									
・報償費は保健師等の内部講師で対応したため支出が少なくなった。													
①成果実績または活動実績													
(計画)													
(1) 各地域振興協議会ごとに毎月1回実施する。													
(上・東長田地区は冬季を除く年10回)													
内容													
・保健師による健康相談(健康、物忘れ、介護、孫育て、禁煙)													
・健康チェック(血圧、体組成、足指力、唾液ストレス検査、認知症タッチパネル等)													
・健康課題に対する教育(自死予防、転倒骨折予防、筋トレ、脳トレ、口腔機能向上等)													
・外部講師(スポネットなんぶ、国立音楽院、西伯病院等)による運動や音楽療法等を実施													
(実績)													
(人)													
地区名		参加延人数		うち相談延人数									
東西町地区		97		10									
天津地区		131		5									
大国地区		77		9									
法勝寺地区		53		21									
上・東長田地区		32		6									
手間地区		72		10									
賀野地区		102		7									
合計		564		68									
(歳入内訳 単位:円)													
(歳出内訳 単位:円)													
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額		本年度決算額	
14-2-1-1		デジタル田園都市国家構想交付金		175,750		63,812		1 報酬		280,000		50,000	
								10 需用費		88,880		77,625	
								11 役務費		6,600		0	
								17 備品購入費		0		812,350	
		一般財源		199,730		876,163							
		計		375,480		939,975		計		375,480		939,975	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地域振興協議会単位で展開をしている。「健康管理の場」「集いの場」として活用してもらうように引き続き周知していく。										
	②次年度へ向けた次への行動・具体策												
	達成できた点をさらに伸ばす方策		健康管理のサポートや身近な相談窓口である「まちの保健室」の周知を行い、定着を図る。										
	解決すべき課題への方策		集い易い場所や集まりやすい時間帯などを協議会ごとに再検討する。										

事業名	5	まちの保健室事業	所属名	健康対策課
②成果または活動の問題点 ・継続利用される方が多く、新規の参加が少ない。 ※R5年度決算との比較 昨年度に比べ内部講師による健康教育を多く実施したことで報償費の支出が減少した。 役務費(手数料)は、特定計量器の定期検査が隔年であるため支出がなかった。(次回定期検査は、R7年度に実施予定) 備品購入費は、それまで使用していた骨密度測定器の故障のため買換えたことによる増額。				

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	健康増進費	会計名	一般会計																																																																																																										
事業名		7	高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施						所属名	健康対策課																																																																																																										
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		後期高齢者					総合計画における位置づけ																																																																																																												
	意図 (対象をどうするか)		後期高齢者がフレイル対策に取り組むことで要介護状態にならずに生活をしている。					⑧健康づくりの推進																																																																																																												
	成果の視点 (どのような効果があるか)		フレイルのおそれがある人に対して専門職による指導を受ける人の増加					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																												
								③健康長寿のまちづくり																																																																																																												
								根拠法令・要綱等																																																																																																												
								高齢者の医療の確保に関する法律																																																																																																												
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	69.67 %																																																																																																														
46,758 円		100,329 円	53,571 円	114.6 %																																																																																																																
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減																																																																																																																
前年度比較		88 千円		144 千円		56 千円		63.6 %																																																																																																												
【事業内容】 ・健診データや高齢者質問票を活用し、健康課題の分析・対象者の把握を行い、効果的なフレイル予防の取り組みを行う。 ・高齢者に対する個別的支援を行う。 ・通いの場等(まちの保健室や100歳体操等)においての健康教育、健康相談を行う。 【決算の状況】 決算額内訳(単位:円) <table><tr><th>科目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備考</th></tr><tr><td>需用費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>50,000</td><td>44,506</td><td>フレイル予防指導箋、紙代</td></tr><tr><td>役務費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>94,000</td><td>55,823</td><td>郵送料</td></tr><tr><td>合計</td><td>144,000</td><td>100,329</td><td></td></tr></table> ・結果通知を他の通知と一緒に同封したため、郵送料の支出が少なかった。 (計画) (1) 高齢者に対する個別的支援 183人 内容: 後期高齢者(2141人)のなかで健診の質問票から低栄養や筋力低下が進むおそれのある高齢者に対して、訪問、面談などで保健指導を行う。 健康状態の不明な方の把握を行い、医療機関への受診が必要な場合には勧奨する。 (実績) ①成果実績または活動実績 (1) 高齢者に対する個別的支援 164人 <table><tr><th>内容</th><th>対象者</th><th>個別指導実人数</th></tr><tr><td>低栄養予防</td><td>22人</td><td>21人</td></tr><tr><td>運動機能低下予防</td><td>105人</td><td>99人</td></tr><tr><td>健康状態不明者対策</td><td>56人</td><td>44人</td></tr><tr><td>合計</td><td>183人</td><td>164人</td></tr></table> ※R5年度決算との比較 フレイル予防の指導箋を購入したため、需用費が増額となった。 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科目名称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>20-5-5-1</td><td>後期高齢者医療保健事業委託金</td><td>46,758</td><td>100,329</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>46,758</td><td>100,329</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>10 需用費</td><td>1,056</td><td>44,506</td></tr><tr><td>11 役務費</td><td>45,702</td><td>55,823</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>46,758</td><td>100,329</td></tr></table> 今後に向けて <table><tr><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>健診や通いの場を活用し、後期高齢者の健康状態の把握を行い個々の状況に応じた保健指導を行う。フレイル予防の健康教育を行い健康寿命の延伸を図る。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成できた点をさらに伸ばす方策</td><td>健診時に実施する質問票などを活用しハイリスク者の保健指導を行うことでフレイルの改善を図るとともに、様々な機会にフレイル予防の啓発を行う。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>フレイルのおそれが高い高齢者へ効果的かつタイムリーな保健指導を実施するため、いきいきサロン等の通いの場で健康教育を行う機会を増やす。</td></tr></table>											科目	予算額	決算額	備考	需用費				消耗品費	50,000	44,506	フレイル予防指導箋、紙代	役務費				通信運搬費	94,000	55,823	郵送料	合計	144,000	100,329		内容	対象者	個別指導実人数	低栄養予防	22人	21人	運動機能低下予防	105人	99人	健康状態不明者対策	56人	44人	合計	183人	164人	款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	20-5-5-1	後期高齢者医療保健事業委託金	46,758	100,329																		一般財源	0	0		計	46,758	100,329	款-項-目-節	前年度決算額	本年度決算額	10 需用費	1,056	44,506	11 役務費	45,702	55,823																計	46,758	100,329	①今後の事業全体の方向性とその内容	健診や通いの場を活用し、後期高齢者の健康状態の把握を行い個々の状況に応じた保健指導を行う。フレイル予防の健康教育を行い健康寿命の延伸を図る。	②次年度へ向けた次への行動・具体策		達成できた点をさらに伸ばす方策	健診時に実施する質問票などを活用しハイリスク者の保健指導を行うことでフレイルの改善を図るとともに、様々な機会にフレイル予防の啓発を行う。	解決すべき課題への方策	フレイルのおそれが高い高齢者へ効果的かつタイムリーな保健指導を実施するため、いきいきサロン等の通いの場で健康教育を行う機会を増やす。
科目	予算額	決算額	備考																																																																																																																	
需用費																																																																																																																				
消耗品費	50,000	44,506	フレイル予防指導箋、紙代																																																																																																																	
役務費																																																																																																																				
通信運搬費	94,000	55,823	郵送料																																																																																																																	
合計	144,000	100,329																																																																																																																		
内容	対象者	個別指導実人数																																																																																																																		
低栄養予防	22人	21人																																																																																																																		
運動機能低下予防	105人	99人																																																																																																																		
健康状態不明者対策	56人	44人																																																																																																																		
合計	183人	164人																																																																																																																		
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																	
20-5-5-1	後期高齢者医療保健事業委託金	46,758	100,329																																																																																																																	
	一般財源	0	0																																																																																																																	
	計	46,758	100,329																																																																																																																	
款-項-目-節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																		
10 需用費	1,056	44,506																																																																																																																		
11 役務費	45,702	55,823																																																																																																																		
計	46,758	100,329																																																																																																																		
①今後の事業全体の方向性とその内容	健診や通いの場を活用し、後期高齢者の健康状態の把握を行い個々の状況に応じた保健指導を行う。フレイル予防の健康教育を行い健康寿命の延伸を図る。																																																																																																																			
②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																				
達成できた点をさらに伸ばす方策	健診時に実施する質問票などを活用しハイリスク者の保健指導を行うことでフレイルの改善を図るとともに、様々な機会にフレイル予防の啓発を行う。																																																																																																																			
解決すべき課題への方策	フレイルのおそれが高い高齢者へ効果的かつタイムリーな保健指導を実施するため、いきいきサロン等の通いの場で健康教育を行う機会を増やす。																																																																																																																			

事業名	7	高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施	所属名	健康対策課																		
(2) 通いの場等においての健康教育、健康相談 内容:100歳体操、まちの保健室など高齢者が集まる場において低栄養予防、口腔機能低下予防、認知症予防、身体機能低下予防などのための健康教育、健康相談を行う。 計画箇所:42か所			(2) 通いの場等においての健康教育、健康相談 <table><tr><th>内容</th><th>実施箇所</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>いきいき100歳体操</td><td>19</td><td>142人</td></tr><tr><td>まちの保健室</td><td>17</td><td>116人</td></tr><tr><td>集団健診</td><td>6</td><td>56人</td></tr><tr><td>いきいきサロン</td><td>2</td><td>24人</td></tr><tr><td>合計</td><td>44</td><td>338人</td></tr></table>		内容	実施箇所	参加者数	いきいき100歳体操	19	142人	まちの保健室	17	116人	集団健診	6	56人	いきいきサロン	2	24人	合計	44	338人
内容	実施箇所	参加者数																				
いきいき100歳体操	19	142人																				
まちの保健室	17	116人																				
集団健診	6	56人																				
いきいきサロン	2	24人																				
合計	44	338人																				
②成果または活動の問題点 ハイリスクの高齢者の方に対する個別指導を行ったが、全ての方の指導ができなかった。																						

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	母子衛生費	会計名	一般会計		
事業名		3	妊婦乳児健康診査事業						所属名	健康対策課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		①妊婦 ②乳幼児					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)		①異常の早期発見、早期介入することで安心して妊娠を継続している。②異常の早期発見、早期介入することで健やかに成長する環境が整っている。					⑧健康づくりの推進				
	成果の視点 (どのような効果があるか)		①健診を受けることで妊婦が適切な支援を受けながら妊娠経過をたどることができる。②新生児聴覚検査、新生児訪問、各乳幼児健診を受けることで、乳幼児が成長発達評価を受け早期に適切な支援を受けることができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ				
								③健康長寿のまちづくり				
								根拠法令・要綱等				
前年度比較		令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減		母子保健法、新生児聴覚(厚労省:改正R4.7.21子母発0721第1号)		
		5,905,018 円		5,714,806 円		△ 190,212 円		△ 3.2 %				
		令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減			令和6年度 執行率	80.54 %
		7,125 千円		7,096 千円		△ 29 千円		△ 0.4 %				

【事業内容】

安心して妊娠、出産を行うことができるよう母子手手帳の交付や妊婦・産後健診の費用を助成する。
また、子どもの発達の状態や異常の早期発見を行うとともに、子育ての不安を解消する機会として乳幼児健診を行う。
令和6年度より「発達障がい児支援事業」を本事業に統合。

【決算の状況】

決算額内訳(単位:円)

科目	予算額	決算額	備考
報償費			
報償費	238,000	237,000	歯科衛生士、視能訓練士、脳神経小児科医師
需用費			
消耗品費	67,000	63,908	母子健康手帳、検査用キット、事務用品等
印刷製本費	12,000	9,240	妊婦健康診査受診票印刷代
役務費			
通信運搬費	24,000	23,994	郵送料
手数料	77,000	53,550	妊婦乳児一般、産後健康診査等の検査費及び手数料
委託料			
その他の委託料	6,379,710	5,273,824	健診医派遣委託891,000円西伯病院、妊産婦健診精密検査等委託4,382,824円(国保連合会・医療機関)
使用料及び賃借料			
借上料	53,290	53,290	脳神経小児科医師送迎代、視覚検査機材借り上げ
扶助費			
扶助費	245,000	0	助産所・里帰り妊婦健診費助成
合計	7,096,000	5,714,806	

※R5年度決算との比較
里帰り先での妊婦健診や出産をされた方が、R5の2人からR6の0人に減少したため扶助費が減少。

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
14-2-3-1	母子保健衛生費国庫補助金	351,000	287,000	7 報償費	192,000	237,000
15-2-2-5	市町村子育て応援交付金	141,470	36,000	10 需用費	73,479	73,148
				11 役務費	92,827	77,544
				12 委託料	5,480,092	5,273,824
				13 使用料及び賃借料	37,520	53,290
				19 扶助費	29,100	0
	一般財源	5,412,548	5,391,806			
計		5,905,018	5,714,806	計	5,905,018	5,714,806

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		妊婦・乳幼児健診事業の継続。個人に応じた必要な支援を行う。	
	②次年度へ向けた次への行動・具体策			
	達成できた点をさらに伸ばす方策		未受診者に対するフォローアップをきめ細かく行うことにより、受診率の向上を図る。	
	解決すべき課題への方策		要精密、要治療の方の把握を早期に行い、必要に応じて具体的かつ迅速に対応するため子育て支援課、教育委員会、各園と連携し、引き続き支援を展開していく。	

事業名	3	妊婦乳児健康診査事業	所属名	健康対策課
①成果実績または活動実績 (計画) (1)母子健康手帳発行等 50人 (2)妊産婦健診 内容:母子手帳を発行した妊産婦に対し健診の受診券を発行し助成する。 ・妊婦健診 医療機関委託 延700回 助産所・里帰り出産妊婦健診 5人×14回分 ・産婦健診 医療機関委託 延100回 助産所・里帰り出産産婦健診 5人×2回分 (3)新生児聴覚検査費助成 50人 内容:生後間もない新生児にかかる聴覚検査に係る費用を助成する。 (4)・乳幼児健診 (個別)乳児健診 10人 (集団) ・乳児健診:月1回実施 ・幼児健診:1歳6ヶ月・3歳児健診は年6回実施 5歳児健診は年5回実施 内容:乳幼児全数を対象とし、発達・発育の確認を行う。 委託先:西伯病院(小児科、歯科) ・すくすく子育て健診 :年4回実施 内容:定期健診で継続支援が必要と判断された子どもや保護者、園で保育士が気になった子ども、子育てに困り感がある保護者を対象に、鳥大脳神経小児科医師による発達発育確認を行う。 (実績) (1)母子健康手帳発行等:45人 (2)妊産婦健診 ・妊婦健診 医療機関委託 延486回 助産所・里帰り出産妊婦健診 0人 ・産婦健診 医療機関委託 延76回 助産所・里帰り出産産婦健診 0人 (3)新生児聴覚検査費助成 38人 内容:生後間もない新生児にかかる聴覚検査に係る費用を助成する。 (4)乳幼児健診 (個別)乳児健診 9-10か月 2人 (集団) ・乳児健診:月1回実施 ・幼児健診: 1歳6ヶ月・3歳児健診は年6回実施 5歳児健診は年5回実施 委託先:西伯病院(小児科、歯科) ・すくすく子育て健診 :年4回実施 10名実施 ・要精密検査の対象の方15人は全員が受診。 ・要治療の対象の方のうち1人は 医療機関へ受診中。 ・R5年度精密検査対象の方のうち未受診1人あり、受診勧奨を行った。 ・健診受診率は高く、もれなく子どもの様子を把握することができている。 ・健診回数が多いことで、子どもや保護者の健康状態をこまやかに確認することができている。 ・健診未受診の方については、電話連絡、訪問などで全数状況確認し、支援できている。 ②成果または活動の問題点 要精密、要治療となった子どもへの受診勧奨は行っているが、医療機関受診へつながらない場合があった。				

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	母子衛生費	会計名	一般会計
事業名		4	歯科保健事業						所属名	健康対策課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		就学前の児と保護者 成人期・高齢期の町民					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		生涯自分の歯で食事ができている。					⑦子どもが健やかに育つ環境づくり		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		セルフケアを行うことにより生活習慣病の予防につながるとともに自分の歯を保持することができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								③健康長寿のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								健康増進法		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率	74.82	%			
	1,158,651 円	1,231,569 円	72,918 円	6.3 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	1,251 千円	1,646 千円	395 千円	31.6 %						
【事業内容】										
- 妊婦歯科健康診査の助成(R6新規) - 乳幼児健診時での歯科指導・町内園におけるフッ化物洗口の実施 - 歯周病検診(ふしめ歯科検診)の実施										
【決算の状況】										
決算額内訳(単位:円)										
科目		予算額	決算額	備考						
需用費										
消耗品費		84,000	58,838	フッ化物洗口用ミラノール、ポリボトル等						
印刷製本費		25,000	15,675	歯周病検診票						
役務費										
通信運搬費		58,000	7,617	郵送料						
委託料										
保守点検委託料		76,000	75,900	オートクレーブ(滅菌機)保守点検料75,900円小西医療器(株)						
その他の委託料		1,165,000	915,200	歯科衛生・歯周病検診医療機関委託料915,200円(鳥取県西部歯科医師会)						
負担金補助及び交付金										
その他補助金		138,000	130,809	西部歯科保健センター運営費負担金						
扶助費		100,000	27,530	妊婦歯科健診助成						
合計		1,646,000	1,231,569							

事業名	4	歯科保健事業	所属名	健康対策課																
①成果実績または活動実績 (計画) (1)妊婦歯科健康診査費用助成 上限2,000円/回を助成 50件 (2)乳幼児健診での歯科指導・検診・フッ素塗布 西部歯科医師会委託の歯科衛生士が 乳幼児健診で歯科指導等を実施 乳児(12回/年) 1歳6か月・3歳(4回/年)、5歳(6回/年) (3)町内保育園・こども園におけるフッ化物洗口の実施 町内4園の年長・年中児のうち希望者に フッ化物洗口で使用する薬剤処方 (4)歯周病検診 対象者数:676人 内容;検診費用の助成 (自己負担額500円・70歳は200円) 実施期間は、R6.6月～R6.12 対象者は、20・30・40・50・60・70歳 (R6より20・30歳を対象に追加) 委託先は契約した西部圏域の歯科医院																				
(実績) (1)妊婦歯科健康診査費用助成 15件 (2)乳幼児健診における歯科検診 乳児 12回 1歳6か月・3歳 4回、5歳 6回 (3)フッ化物洗口事業 109名/113名中実施 (4)歯周病検診 ・受診者 70歳未満:26人 70歳 :11人 実施期間は、R6.6月～R6.12 歯周病検診受診率推移 <table><tr><td></td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>対象者数 (人)</td><td>551</td><td>545</td><td>676</td></tr><tr><td>受診者数 (人)</td><td>38</td><td>36</td><td>37</td></tr><tr><td>受診率 (%)</td><td>6.9</td><td>6.6</td><td>5.5</td></tr></table>						R4	R5	R6	対象者数 (人)	551	545	676	受診者数 (人)	38	36	37	受診率 (%)	6.9	6.6	5.5
	R4	R5	R6																	
対象者数 (人)	551	545	676																	
受診者数 (人)	38	36	37																	
受診率 (%)	6.9	6.6	5.5																	
②成果または活動の問題点 ・歯周病検診の対象者拡大するも受診率は低い状況。口歯の健康は健康寿命や全身疾患への影響も大きい、口の健康に対する意識が全体をとおして低い。																				

款	5	保健事業費	項	1	特定健康診査等事業費	目	1	特定健康診査等事業費	会計名	国民健康保険事業特別会計																																																																																																									
事業名		1	特定健康診査等事業						所属名	健康対策課																																																																																																									
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		南部町国民健康保険に加入している40歳から74歳の方					総合計画における位置づけ																																																																																																											
	意図 (対象をどうするか)		健診を受けることで自身の健康状態を知り、疾病の治療に繋がったり、健康づくりに取り組んでいる。					⑧健康づくりの推進																																																																																																											
	成果の視点 (どのような効果があるか)		国民健康保険加入の方の特定健康診査の受診者数及び受診率の増加					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																											
								③健康長寿のまちづくり																																																																																																											
								根拠法令・要綱等																																																																																																											
	前年度比較		令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減		高齢者の医療の確保に関する法律、特定健康診査および特定保健指導の実施に関する基準、国民健康保険法																																																																																																								
7,684,911 円			7,569,721 円		△ 115,190 円		△ 1.5 %																																																																																																												
令和5年度予算額			令和6年度予算額		差引		増減																																																																																																												
9,574 千円			9,637 千円		63 千円		0.7 %																																																																																																												
								令和6年度執行率	78.55 %																																																																																																										
【事業内容】 国民健康保険に加入の40歳～74歳の方を対象に健康診査を実施する。健診結果に基づき必要な方に対して特定保健指導を実施する。 【決算の状況】 決算額内訳(単位:円) <table><tr><th>科目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>備考</th></tr><tr><td>需用費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>103,000</td><td>102,779</td><td>受診券同封物用紙、指導箋他</td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>80,000</td><td>79,420</td><td>健診結果記録票</td></tr><tr><td>役務費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>131,000</td><td>103,806</td><td>健診結果郵送料、みなし健診通知郵送料</td></tr><tr><td>委託料</td><td>1,701,000</td><td>1,971,585</td><td>通知作成委託料325,985円鳥取県国保連合会、受診率向上の委託料1,645,600円(株)キャンサースキャン</td></tr><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>7,261,000</td><td>5,312,131</td><td>特定健診費用</td></tr><tr><td>合計</td><td>9,276,000</td><td>7,569,721</td><td></td></tr></table> R5年度決算との比較 ※需用費は、受診券発送時の案内通知や指導箋の購入で増加した。 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科目名称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>5-2-1-1</td><td>保険給付費等交付金(特別交付金)</td><td>3,911,000</td><td>4,742,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>3,773,911</td><td>2,827,721</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>7,684,911</td><td>7,569,721</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科目名称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td>10</td><td>需用費</td><td>81,009</td><td>182,199</td></tr><tr><td>11</td><td>役務費</td><td>77,447</td><td>103,806</td></tr><tr><td>12</td><td>委託料</td><td>1,770,294</td><td>1,971,585</td></tr><tr><td>18</td><td>負担金補助及び交付金</td><td>5,756,161</td><td>5,312,131</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>7,684,911</td><td>7,569,721</td></tr></table>												科目	予算額	決算額	備考	需用費				消耗品費	103,000	102,779	受診券同封物用紙、指導箋他	印刷製本費	80,000	79,420	健診結果記録票	役務費				通信運搬費	131,000	103,806	健診結果郵送料、みなし健診通知郵送料	委託料	1,701,000	1,971,585	通知作成委託料325,985円鳥取県国保連合会、受診率向上の委託料1,645,600円(株)キャンサースキャン	負担金補助及び交付金	7,261,000	5,312,131	特定健診費用	合計	9,276,000	7,569,721		款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	5-2-1-1	保険給付費等交付金(特別交付金)	3,911,000	4,742,000																		一般財源	3,773,911	2,827,721		計	7,684,911	7,569,721	款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	10	需用費	81,009	182,199	11	役務費	77,447	103,806	12	委託料	1,770,294	1,971,585	18	負担金補助及び交付金	5,756,161	5,312,131														計	7,684,911	7,569,721
科目	予算額	決算額	備考																																																																																																																
需用費																																																																																																																			
消耗品費	103,000	102,779	受診券同封物用紙、指導箋他																																																																																																																
印刷製本費	80,000	79,420	健診結果記録票																																																																																																																
役務費																																																																																																																			
通信運搬費	131,000	103,806	健診結果郵送料、みなし健診通知郵送料																																																																																																																
委託料	1,701,000	1,971,585	通知作成委託料325,985円鳥取県国保連合会、受診率向上の委託料1,645,600円(株)キャンサースキャン																																																																																																																
負担金補助及び交付金	7,261,000	5,312,131	特定健診費用																																																																																																																
合計	9,276,000	7,569,721																																																																																																																	
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																
5-2-1-1	保険給付費等交付金(特別交付金)	3,911,000	4,742,000																																																																																																																
	一般財源	3,773,911	2,827,721																																																																																																																
	計	7,684,911	7,569,721																																																																																																																
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																
10	需用費	81,009	182,199																																																																																																																
11	役務費	77,447	103,806																																																																																																																
12	委託料	1,770,294	1,971,585																																																																																																																
18	負担金補助及び交付金	5,756,161	5,312,131																																																																																																																
	計	7,684,911	7,569,721																																																																																																																
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		受診率の向上のため健診を受診しやすい体制の確保・受診勧奨や啓発活動を継続して行う。																																																																																																																
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																		
	達成できた点をさらに伸ばす方策		広報や個別受診勧奨通知の他、みなし健診を含めた定期通院者の受診対策を実施する。																																																																																																																
解決すべき課題への方策		毎年健診を受けることの重要性を啓発していく。ターゲットを絞った個別受診勧奨通知を実施する。また、受診しやすい環境を整えるため休日健診と健診医療機関の拡大する。																																																																																																																	

事業名	1	特定健康診査等事業	所属名	健康対策課
①成果実績または活動実績 (計画) 内容:特定健康診査を指定医療機関での個別健診と集団健診で実施。 委託先:74医療機関(個別健診)と鳥取県保健事業団(集団健診)。 対象者数:1,583人 実施期間:令和6年6月～令和7年2月末。 (町外医療機関は令和6年7月～令和7年2月末) ・みなし健診の受診案内を行う。見込み500人。 通知作成の委託先:鳥取県国保連合会 ・受診率向上対策事業 受診勧奨通知:3回/年 3,600通見込み 委託先:株式会社キャンサースキャン (実績) 内容:特定健康診査を指定医療機関での個別健診と集団健診で実施。 委託先:74医療機関(個別健診)と鳥取県保健事業団(集団健診)。 受診者数:644人 実施期間:令和6年6月～令和7年2月末。 (町外医療機関は令和6年7月～令和7年2月末) ・みなし健診の案内通知 367人。 通知作成の委託先:鳥取県国保連合会 ・受診率向上対策事業 受診勧奨通知 3回/年 2,877通 委託先:株式会社キャンサースキャン ・令和6年度 年代別の受診者数 <				

款	5	保健事業費	項	2	保健事業費	目	1	保健施設普及費	会計名	国民健康保険事業特別会計
事業名		1	保健施設普及事業						所属名	健康対策課
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		国民健康保険に加入する36歳以上の方					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		対象者が人間ドックを受けることで自身の健康状態を知り、疾病の治療に繋がったり、健康づくりに取り組んでいる。					⑧健康づくりの推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		人間ドックの申込者数及び受診率の増加					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								③健康長寿のまちづくり		
								根拠法令・要綱等		
								国民健康保険法第82条		
前年度 比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	81.81	%			
	4,087,725 円	7,418,244 円	3,330,519 円	81.5						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						
	6,103 千円	9,068 千円	2,965 千円	48.6						
【事業内容】 36歳以上の国保加入者で人間ドックの申し込みのあった方を対象に健康診査やがん検診等を実施する。										
【決算の状況】 決算額内訳(単位:円)										
科目		予算額	決算額	備考						
需用費										
消耗品費		21,000	9,284	受診券同封用紙代、封筒代						
印刷製本費		39,000	38,390	人間ドック記録票						
役務費										
通信運搬費		90,000	89,498	案内通知郵送料、結果通知郵送料						
委託料		8,918,000	7,281,072	人間ドック委託料7,281,072円(町内4医療機関)						
合計		9,068,000	7,418,244							
①成果実績または活動実績 (計画)										
・人間ドックを町内医療機関で実施。 ・委託先:町内4医療機関(西伯病院、潮医院、法勝寺内科クリニック、ひろかね内科・循環器内科クリニック) ・36歳以上の南部町国民健康保険に加入の方に定員300名で募集し、健康診査やがん検診等を実施する。										
・実施期間は、6月～2月末。										
・申込した方で、未受診の方について受診勧奨通知を行う。										
(実績)										
・人間ドックを町内医療機関で実施。 ・委託先:町内4医療機関(西伯病院、潮医院、法勝寺内科クリニック、ひろかね内科・循環器内科クリニック) ・定員300名に対し再募集も行い定員300名が申込み。										
・実施期間は、6月～2月末。										
・未受診者に対して年末に個別の受診勧奨を行い、248名受診した。										
②成果または活動の問題点 申し込みをされても受診されない方がある。(申込者300名の内、248名受診)										
※R5年度決算との比較 委託料は、R6年度定員数を200名から300名に増やしたため受診者数が増加し増額となった。										
(歳入内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
					10 需用費	41,250	47,674			
					11 役務費	75,060	89,498			
					12 委託料	3,971,415	7,281,072			
	一般財源		4,087,725	7,418,244						
	計		4,087,725	7,418,244	計	4,087,725	7,418,244			
今後 に 向 け て	①今後の事業全体の方向性とその内容		対象者全員へ案内を行い、申込者数の維持と受診者数の増加を目指す。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		個別案内を実施し、申請方法は引き続き申請書提出でもテノヒラ役場からの申し込みでも出来るように利便性を維持する。							
	解決すべき課題への方策		申込されても受診していない方も多いため、医療機関の空き状況を踏まえ、年度途中での未受診者勧奨(予約者除く)を引き続き受診勧奨を行う。							

款	5	保健事業費	項	2	保健事業費	目	2	健康施設管理費	会計名	国民健康保険事業特別会計
事業名		2	健康管理センター管理費						所属名	健康対策課
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)		①維持管理の施設 ②町民・各種団体						総合計画における位置づけ	
	意図 (対象をどうするか)		①施設機能を維持するため、適正な管理が行われている。 ②幅広く町民・各団体の方が利用しやすい施設環境を整備できている。						⑧健康づくりの推進	
	成果の視点 (どのような効果があるか)		①施設の維持管理を行うことにより、公共施設としての機能を維持することができる。 ②町民や各種団体等の活動の場として利用ができています。						「五つの挑戦」から見た位置づけ	
									③健康長寿のまちづくり	
									根拠法令・要綱等	
前年度 比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		国民健康保険法 国民健康保険健康管理センター条例		
		6,182,843 円	5,860,716 円	△ 322,127 円		△ 5.2 %				
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減				
		6,344 千円	6,291 千円	△ 53 千円		△ 0.8 %				
		令和6年度 執行率			93.16		%			
【事業内容】 ○健康管理センターすこやかなの施設管理に係る経費 ＜経費面の特記事項＞複合機の利用料、電話代、電気代は健康福祉課、子育て支援課、福祉事務所で按分。 複合機は健康福祉課2/4、子育て支援課1/4、福祉事務所1/4、電話、電気は3課で1/3ずつ按分										
【決算の状況】 ①成果実績または活動実績 (計画) (実績)										
科目		予算額	決算額	備考						
需用費										
消耗品費		550,900	528,269	事務用品、コピー代他						
燃料費		78,000	51,580	ガス代(36,970)						
印刷製本費		49,000	49,000	封筒(3,000枚)						
光熱水費		1,610,000	1,606,417	水道(116,160)、電気(1,490,257)						
施設修繕費		200,000	197,670	誘導灯、照明器具、水栓取替他						
役務費										
通信運搬費		304,000	302,507	電話代						
火災保険料		60,000	59,561	建物共済分担金						
委託料										
保守点検料		1,892,000	1,623,300	空調設備保守点検(TBM)836,000円、エレベーター保守点検(日立ビルシステム)402,600円、ジャパンエレベーターサービス151,800円)電気保守点検(前田電気)190,000円、消防設備(上田商事)42,900円、						
施設管理委託料		812,000	765,237	床清掃(東亜建物管理)357,357円、館内清掃(シルバー人材センター)199,980円、警備(大同警備)207,900円						
使用料及び賃借料 借上料		248,000	245,408	玄関マット(クリアメイト)88,176円、AED(セコム)29,720円、複合機リース料(ケイズ)11,352円、印刷機リース料(はらぶん)116,160円						
使用料		112,000	99,567	下水道使用料、テレビ受信料						
備品購入費		375,100	332,200	事務机・椅子各5台他、掃除機						
合計		6,291,000	5,860,716							
②成果または活動の問題点 施設等の老朽化に伴う修繕が発生すると予想される。 (歳入内訳 単位:円)										
※R5年度決算との比較 事務机等の備品を購入したため、増額となった。 (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
5-2-1-2		保険給付費等交付金(特別交付金)		4,021,050	4,077,875	10 需用費		2,902,627	2,432,936	
						11 役務費		365,656	362,068	
						12 委託料		2,565,353	2,388,537	
						13 使用料及び賃借料		349,207	344,975	
						17 備品購入費		0	332,200	
		一般財源		2,161,793	1,782,841					
		計		6,182,843	5,860,716	計		6,182,843	5,860,716	
今後 に 向 け て	①今後の事業全体の方向性とその内容		施設の管理運営にあたり、適正な予算執行に努める。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		南部町の保健・医療・福祉の拠点として適切な施設管理を行い、町民の相談窓口としての機能を維持する。							
	解決すべき課題への方策		必要に応じた施設修繕等により、施設の維持管理を行う。							

款	4	保健事業費	項	1	健康保持増進事業費	目	1	健康診査費	会計名	後期高齢者医療特別会計			
事業名		1	後期高齢者健康診査事業						所属名	健康対策課			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		後期高齢者医療制度に加入の方					総合計画における位置づけ					
	意図 (対象をどうするか)		対象の方が健診を受けることで自身の健康状態を知り、疾病の治療や介護予防につながっている。					⑧健康づくりの推進					
	成果の視点 (どのような効果があるか)		後期高齢者健康診査の受診者数及び受診率の増加					「五つの挑戦」から見た位置づけ					
								③健康長寿のまちづくり					
								根拠法令・要綱等					
								高齢者の医療の確保に関する法律					
前年度比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減		令和6年度執行率	93.66 %			
	5,267,837 円		5,814,565 円		546,728 円		10.4 %						
	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減						
	5,701 千円		6,208 千円		507 千円		8.9 %						
【事業内容】 後期高齢の方へ健康診査とみなし健診を実施。(みなし健診は、健康診査と同項目の検査をかかりつけ医から情報提供をうけ健診を受診したとみなす制度のこと。)													
【決算の状況】 決算額内訳(単位:円)													
科目		予算額		決算額		備考							
需用費													
消耗品費		24,000		24,000		受診券同封物用紙他							
印刷製本費		42,000		41,800		健診結果記録票							
役務費													
通信運搬費		81,000		81,000		健診結果、みなし健診通知郵送料							
手数料		172,000		139,314		国保連合会健診費用決済手数料							
委託料		5,889,000		5,528,451		健康診査委託料(5,509,311円鳥取県国保連合会、19,140円鳥取県保健事業団)							
合計		6,208,000		5,814,565									
①成果実績または活動実績 (計画) 後期高齢者健康診査を町内医療機関での個別健診と集団健診で実施。 委託先:町内4医療機関(西伯病院、潮医院、法勝寺内科クリニック、ひろかね内科・循環器内科クリニック)(個別健診)と鳥取県保健事業団(集団検診) ・対象者数(概算)2141人、目標値は26.5%。 ・実施期間:令和6年6月～令和7年2月末													
(実績) 後期高齢者健康診査を町内医療機関での個別健診と集団健診で実施した。 委託先:町内4医療機関(西伯病院、潮医院、法勝寺内科クリニック、ひろかね内科・循環器内科クリニック)(個別健診)と鳥取県保健事業団(集団検診) 受診者693人、受診率32.4% (鳥取県受診率23.48%) ・実施期間:令和6年6月～令和7年2月末													
※R5年度決算との比較 R6年度新規取組としてみなし健診案内通知をしたことにより、消耗品費、郵送料が増加した。													
(歳入内訳 単位:円)													
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額		本年度決算額	
6-3-1-1		後期高齢者健康診査委託金		5,204,479		5,648,625		10 需用費		36,960		65,800	
								11 役務費		136,086		220,314	
								12 委託料		5,094,791		5,528,451	
		一般財源		63,358		165,940							
		計		5,267,837		5,814,565		計		5,267,837		5,814,565	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		受診率の向上のため健診を受診しやすい体制の確保・受診勧奨や啓発活動を継続して行う。										
	②次年度へ向けた次への行動・具体策												
	達成できた点をさらに伸ばす方策		医療機関での個別健診と集団健診を併用して実施し、受診しやすい環境を整える。受診意識向上のため受診券やみなし健診の案内を個別通知する。										
	解決すべき課題への方策		毎年健診を受けることの重要性を啓発していく。受診医療機関を拡大する。										

事業名	1	後期高齢者健康診査事業	所属名	健康対策課
②成果または活動の問題点 ・高齢者は定期で通院している方も多く、「医療にかかっているから健診は要らない」と思われている。それと同時に通院先が健診の指定医療機関となっていない場合がある。				